

<平成21年度 東部地区集会反省アンケート>

1 今年度の反省

Q1 講話（勤務時間条例改正）についての感想・ご意見等をお書きください。

- ・ 日常の業務に直接関わりのある内容でタイムリーな話題が良かった。資料・内容も分かりやすかった。県教委の担当から直接聞いて良かった。理解が深まった。56件
- ・ はっきりとした語調で大変聞きやすかった。丁寧にわかりやすく説明していただき参考になった。勉強になった。39件
- ・ この会以前に、地区の事務研・自校でも詳しい話を聞く機会があったため、この講話で1つ1つ理解・確認しながら聴くことができた。
- ・ 普通に良かった。ためになった。改正通知を受けて自分なりに理解していたつもりでしたが、講話を聞いたことで、理解が深まりました。9件
- ・ 年休及び特休関係様式について、各市町・学校が悩まないように推薦(?)する様式を示していただきたかったです。
- ・ 時間外勤務命令簿の記入方法についての説明など詳しくて勉強になりました。4件
- ・ 時間外勤務命令…会議のために16:30~16:45(15分間)のみの命令もあり得ることになりますね。
- ・ 22年4月から混乱することが予想されますが、職員への周知徹底を図っていきたいと思います。
- ・ ただ育児短職員についてはなかなか事例も少なく不安が残りました。理解しづらかった。2件
- ・ 施行される前に、早い時期に聞きたかったです。6件
- ・ 矛盾している(実態とかけ離れている)制度が国等との権衡の原則で施行された。ますます事務処理が複雑になっていく。シンプルな制度にならないのでしょうか。
- ・ 今事務職員が一番知りたいであろう内容について説明を受けることが出来たので大変ありがたかったが、逆の視線に立って言えば、あれだけ複雑な計算が必要となる制度について、今回のこの「場」がなければ、文書通知してはい終わり…となったのだろうかと考えると空恐ろしい。強く疑問を感じる。(東部地区集会運営側の問題ではないが) 「タイムリーでよい」のではなくて、むしろ「有って当然」なのでは?
- ・ 今後どうなるのかもっと具体的に(詳しく、細かな事例について、年休の処理方法など)知りたかったなと思った。10件
- ・ 改正にいたった経緯、今後の事務処理について聞くことができたのは良かった、疑問が解決され参考になった。8件
- ・ 改正後の年休簿の処理方法や、取り方等、来年度、教員への実施に向け、まず自分たちの勤務時間について理解しておくよい機会になりました。12件
- ・ 内容は時間的なことが複雑になり困ります。
- ・ 集中して聞くことができました。ホワイトボードが用意されていたので、重点的なことは書いて説明してほしいと思いました。2件
- ・ 条例・規則や考え方は理解できたが、年休等の具体的な記入処理について説明があると良かった。(講師の方の役割ではないかもしれないが)
- ・ 学校現場には、合わない改正なので 複雑さや面倒な感じがぬぐいきれず、先が思いやられる感じでした。
- ・ 改正に至る経過はよく理解できました。色々なパターン、事例が出てこない具体的な質問ができないなと感じました。事前に想定できるよう、頭を切替えて柔軟にしないと(算数も含めて・・・)ついていけないのではと、不安になりました。

- ・教育職員と行政職員の施行時期が違うことで、学校運営に問題・・・というか、戸惑いがあったように思います。年休の取り方・書き方や時間外について聞けてよかったです。年休の書き方等については、わかりやすく先生方に伝えられるよう、考えないといけないなと思いました。
- ・講師の方が急に変わったということもあると思いますが、資料を読んだという印象でした。
- ・根拠を踏まえた説明で、とても解りやすかった。しかし、時間外勤務について・・・運動会などの25/100の時間外の請求の仕方について教えて欲しかったです。(30分以上の端数を切り上げて、1日8時間で請求してよいのか?)
- ・勤務時間が短縮されたことで、年休簿など書類がわかりにくくなり、大変だなあとあらためて感じました。
- ・とてもタイムリーでとても勉強になりました。急な講師の依頼でははずなのに、説明が大変わかりやすく聞きやすく、さすが教諭と思いました。
- ・勤務時間の短縮は仕事量等のことを考えると厳しくなったと感じるが、精神的なゆとりができたように思う。
- ・丁寧なわかりやすい説明で理解を深めることができた。資料もわかりやすく管理職にも説明ができた。
- ・事務職員の勤務時間が変わり、終業時間が早くなったが、教職員と連絡事項など行うのに、児童が帰ってからなので、なかなか終業時間は守れない。
- ・10月1日から施行となったばかりの条例についての説明であり、この改正による事務処理について不安があったので、細部にわたり聞くことができ、良かったと思います。
- ・今回、説明をしていただいたおかげで、改正の趣旨や経緯がよく理解できました。年次有給休暇を取得した際の残日数の算出方法に気を付けたいと思います。
- ・講話を聴いて、再度確認できました。(2)
- ・改正の趣旨から始まり、とても聞きやすく、わかりやすい説明でした。(改正の通知文を、自分で読んで理解することは、なかなか大変です。ありがとうございました)
- ・事前に質疑をあげて、それに対しての回答もあってよかった。
- ・講話をしてくださった先生の話と資料が大変分かりやすく、根拠も詳しく教えてくださったのでよく理解できました。(4)
- ・あまりにおおまかによくわからなかったです。こまかい実際の処理方法を教わりたかったのですがそういうところまではいかなかったみたいです。
- ・来年度は先生方も適用されるので、是非教頭・教務等の会議でも講話をしていただきたい。
- ・勤務時間条例改正について、研修する機会がなかったので、計算方法の解説等参考になった。
- ・別の研修会で少し聞いていた内容でしたので、確認する意味でも有意義でした。新年度に教員への説明が少しでもスムーズに行えるように勉強しておきたいです。
- ・大変勉強になったが、今は事務職員と栄養職員だけだが、全職員になった場合に説明がうまく伝わるか不安です。
- ・今後の事務処理において大いに役立つ内容で、私たち事務職員自身も安心感が持てる講話でした。
- ・資料を事前に用意していただき、それを見ながら説明を受けられたのでとても分かりやすかった。
- ・改めて勤務時間条例について詳しく学べたことが良かったです。今後教員も同じような勤務時間になるということで事前に年休等との関連もさらに把握しておかなければいけないと再認識することができました。
- ・時間を短縮することによって、できるだけ早く仕事を終わらせようという効率的な方向にいくといった
- ・大変判りやすい説明と、実務面でのポイントを指導していただき実践に役立つ研修と成りま

した。

- ・内容は、通知文等で周知されていたもので、特に目新しいものはなかった。
- ・質疑の時間がもう少しあれば良かった。6件
- ・わかりやすいお話でした。時間があったら必携も開いてみたいと思います！
- ・休暇について、不明な点を確認できてよかった。
- ・改正の経緯から処理の仕方まで、わかりやすく解説していただき、理解できました。
- ・実際には実態に合わない制度です。見直し等も検討していただきたいと感じました。
- ・疑問に思っていた年休の分割取得について回答をいただくことができ良かったです。
これから、分割取得する教職員が数十分だけ勤務した場合は、年休が1日でも、手当が支給されるので、勤務実績を十分把握しなければならないと思いました。
- ・資料を読めば分かることが多く、もっと色々な情報を聞けたらよかったなと思いました。
- ・通知文書の内容をかみくだくようなお話で、とても分かりやすかった。自分が学校に戻ったとき先生方にどのように説明したら上手に伝わるかを考えながら聴きました。
- ・育短など自校に該当がない部分で、理解しきれていない所があるので、今後再確認していきたい。
- ・少しわかりにくかった
- ・事前の質疑への回答もいただいたので具体的な事務処理にすぐに対応できて助かります。
- ・勤務時間条例改正については、「勤務時間が改正される」という漠然とした理解しかなかったが今回の講義で改正の流れや詳細を学ぶことができたと感じます。休暇の取り方等、今後の事務処理において留意する点も多く学ぶことができました。
- ・自分があまり良く理解出来ていない状況で、教員に対する説明をどのように行えばいいのか、どのように説明すれば理解されるのか、年度末に向けて今から頭が痛いです。
- ・お話の仕方、内容、良かったです。(11件)
- ・4月の実施に向けて、教員への周知方法など考えなくてはいけないことがたくさんあるなと思いました。(3件)
- ・事前に資料が配付されて読んでおくことができ取り組みやすかった。(2件)
- ・条例改正をしっかり理解することができなかった。
- ・年休等の説明を聞くことができ、すぐにでも役立つ内容でした。
- ・改正の趣旨等わかりやすく説明していただけてよかった。終わりに「研修を活用し、横のつながりを大事にしてほしい」の言葉が印象に残りました。
- ・大体的内容は理解できましたが、質疑の時間が短かったように思います。(2件)
- ・わかりやすかったけれど、文書を読むだけでもわかったかな？(3件)
- ・8時間年休の問題など、不明な点の考え方が明らかになってよかったと思います。機を得た研修に感謝します。
- ・支部の検討会等で主幹から連絡、確認は受けていたので丁寧に聞くことができた。
- ・私たちが疑問・問題に思うことを事前に理解したうえでの説明だったように感じました。よくわかりました。でも、現実になると15分短縮は？できない規程だけどもまとめ取りをしたいですね。
- ・例題などを表示して具体的な実務を教えてほしかった。
- ・寄せられていた質疑がありましたら、その説明が聞きたかったです。
- ・分単位の計算になるので、間違えないように年休簿を作成しなければいけないと思った。
- ・事前に配布されていた資料をほぼそのままの説明であったので、もう少し行間にこめられた運用面での取扱いについても触れていただきたかった。
- ・資料がわかりやすかったが、実際に自分がミスをせずできるか不安である。また、教員にわかりやすく年休・特休簿の説明を行うことが今後の課題であると感じました。

- ・残日数の計算方法等一覧が付いていてわかりやすかったです。しかし、改正自体が現状に即していない感は拭えませんでした。
- ・行政職員の条例改正を教職員より先に行ったこと、また、教職員の条例改正施行前にこの講話を聞いたことはとてもよかったですと思います。
- ・この様な講話は毎回必要ですね。
- ・10月から勤務時間が改正されたので、説明を受けられて、大変よかったです。
- ・旧勤務時間条例との違いが、わかりやすかった。
- ・現在、校内での該当が一人であること、また来年度から教育職員の施行となることで興味あるものでした。まだ施行されたばかりで問題も出てくるかも・・・と思う部分もあるものの説明的にはわかりやすく講話してくださり有難かったです。
- ・講話のおかげで、以前よりだいぶ理解することができました。
- ・勤務時間が短縮されて、どのような事務処理をすればよいのか疑問でしたが、説明を聞いて少し理解できました。
- ・現在は事務職員だけが該当ですが、4月には教育職員も施行されるということで興味深い内容でした。
- ・今回の改正について、詳しく説明していただいたことは、良かったです。
条例等の改正については、全員の事務職員に同じ場で説明していただくことが必要と思います。説明がなかったり、一部の人だけであったり、場が違っていたりすると、判断等が違う場合があるからです。
- ・わかりやすく説明していただいたと思いますが、一点、二回に分けて年休を取得し、最終的に一日になってしまった場合の年休簿の記入の仕方がすっきりと理解できず周りの方に聞いてしまいました。
- ・わかりやすい説明で大変よかったです。欲を言えば具体例や速見表を作成していただけると有難いです。(同意見 2)
- ・今現在さし迫った問題なので、とても勉強になりました。ただ、もう少し事務を簡略化できなかったのかという思いはあります。
- ・お声が大変よかったです。
- ・質疑応答の部分をもう少し詳しく聞きたかったです。
- ・勤務時間条例改正の講話はタイムリーで、しかも分かりやすい説明でした(同意見 2)が、レジメ通りの説明でしたので、資料だけいただいてもよかったかな?とも思いました。せっかくの機会なのでこの一ヶ月の実態を挙手等で聞いていただきたかったです。何のための時短なのか、定数改善や事務改善を進めても追いつかないこの現状を理解してほしいと思いました。このことにより増えた時間外の手当をしてくれるのか疑問も残ります。
- ・10月1日よりの改正でしたので、タイムリーな講話だったとは思いますが、なぜ、改正になったのか、もう少し説明をしてほしかったように思いました。また、平成22年度からは学校現場で実施になることを考えると、具体的なこと(年休簿の処理や、様式の変更等)をもっと詳しく聞きたかったです。(同意見 4)
- ・分かり易くてよかったが、もう少し改正になった背景や予想される問題点等深い話が聞きたかった。
- ・もう少し時間をかけ、事例等がほしかった。実際、勤務時間を短くした地区等聞きたかった。
- ・大変聞きやすいすてきな声でよかったです。内容的には文書でいただいたとおりなので、特別なものはなかったように思う。
- ・来年度から職員全体にかかわることなのに、具体的な点でよくわからない部分があり、今回の講話を伺って理解することができました。ただし、多忙感を解消するための今回の改正のほうですが、

業務内容が削減されない限り仕事量も多忙感も、現状は何も変わらないんですよね・・・。

- ・ 1日の勤務時間が7時間45分になったことで年休簿や家族休暇簿についてとても複雑になってしまった。(同意見 3) 半日単位や時間単位で取得した場合今までより時間を損したような気分になるのは錯覚でしょうか？
- ・ 急遽講師が変わられたとのことで仕方がないが、文書も以前配布された内容であり、概要は理解できたが、具体的な事項に関する処理について詳細が伺えることを期待していたので、少し残念でした。
- ・ 小・中学校向けの具体的な話にしてほしかった。
- ・ 普通だった。
- ・ しっかり聞こうと思っていたのに、体調が悪く、講話に集中できませんでした。申し訳ありません。
- ・ しかし、勤務時間の短縮そのものが現状に合わないのではないか、という思いが払拭できない。
- ・ 講話というよりただの解説だったと思う。質問時間も少なくこちらの期待したものとは少し違っていただけではないか。
- ・ 疑問に思っていたことも解決できたのでよかったです。
- ・ 事務処理のしかた(7時間45分の処理の仕方等)をもっと簡単になるようにならないかと思いました。
- ・ 早見表等資料も詳しく記載されているので活用したいと思います。
- ・ 質問事項は前もってお願いをしてあったので良かった。(3)
- ・ 10月1日以降、学校現場で趣旨に沿った実施のされ方をしているか、全県の状況を聞きたいと思いました。
- ・ 趣旨としての概略は理解できたのですが、実際に次年度(教員)から始まった時にも実務的な事を聞きたいと思いました。
- ・ 勤務時間の短縮が仕事の多忙感につながるかもしれない。休暇の取り方も複雑で不安になった。
- ・ 勤務時間に関する話は、できれば、管理職も一緒に聞けると良いですね

Q2 全事研報告についての感想・ご意見等をお書きください。

- ・ ちょうど良い長さだと思います。
- ・ 私自身のせいでもありますが、資料がなく、書き留めることに夢中になってしまい、それでもすべてを書き留めることができず、聞き取れない部分が出てきてしまった。
- ・ 全事研の様子、学校財務ウィーク、最新の全国の動向・状況が分かり視野が広がる、貴重な機会でした。生の声で聞くことができる数少ない機会だと思います。お疲れ様です。6
- ・ 中央情勢が聞ける数少ない機会なので良かったのですが、会員以外が増えてきている状態の組織の中で如何なものでしょうか？
- ・ 特に今年度は政権交代により、学校環境の著しい変化が予想されます。世間の動きに敏感に対応し、校内の教職員及び地区内の事務職員と話題を共有したいと思います。
- ・ 難しく、よく分からなかったけど、経験年数を重ねるうちに、もっと内容がつかめるようになるのかな、と思いました。
- ・ 現状がわかり良かったと思います。各種研修会への参加も心がけたいと感じました。
- ・ 他に何もなければ中央の情勢を知る機会がない事務職員が多い中で、貴重な情報源ではあると思う。むしろ、もっと細かい内容を知りたいのではないかと。運営方法にもよるが、日程的に余裕を持たせてもう少し時間をとって良いかもしれない。
- ・ 全国の様子を聞くことは意識の向上になっていいと思うので毎年、何らかの形で報告をしてもらえると良いと思った。

- ・学校財務ウィークを通して、まず自分自身が財務について真剣に考えなくてはならないと思いました。意識的に取り組みたい。(4)
- ・中央情勢や、子どもたちのために意欲的に学校事務改善を推進しようとしているお話を伺うと背筋が伸びる思いです。
- ・日常業務をこなしながらの活動は大変なご苦労かと思います。効率的職務遂行の手法も教えていただきたい気がします。
- ・東部から出ている理事の話の研究集会で聞くことは必要なことだと思う。
- ・紙上報告でもよい。東部事務研のHPでの報告でも良いのでは？(4)
- ・まだ出席したことがないけど機会があれば出席してみたいです。
- ・今、私たちを取り巻く環境について頑張っていてくださる方々の存在を確認できて良かったです。
- ・概要はわかりました。
- ・全国的な組織へ、県代表として活動してくださる方々は、どなたも意欲的で感心するばかりです。いつもありがとうございます。全国的な取り組みを県内で展開していくのは大変ご苦労があると思いますが、なるべく協力していきたいと考えています。
- ・全事研の内容がよくわかりました。(5)
- ・時間が短かったように思えます。(3)
- ・旅費の関係でセミナーの参加が今後どうなるのかなと思われまます。集会は情報提供のよい機会だと思います。
- ・箇条書きでも良いから、話の柱等がわかるものがあつたら良かった。(3)
- ・今回は、必要がなかったようにも感じられる。(書面にする内容がなかったことから)
- ・忙しい中での活動で大変だと思います。お疲れ様です。(3)
- ・全国の情報を知り得る機会でありがたいです。(3)
- ・静岡県からは全事研理事が2人いるので全国の情報が早くそして近くに感じられありがたいと思う。お二人は出張が多く大変だろうと思います。
- ・いつもながら上手な話でしたが、持ち時間が少なかつたためか早口なのが残念でした。
- ・初めての参加でしたので、色々な活動があるのだと感心致しました。
- ・毎年、池谷さんに報告頂き感謝しております。文科省や全事研の動き等的確に要点をまとめて報告がわかりやすかつたです。(3)
- ・報告は必要かもしれませんが、わざわざ、地区集会で報告することもないと思います
- ・報道に振り回されないようにしようと思ひました
- ・かいつまんで分かりやすくしていただき、良かったと思います。
- ・文部科学省の予算措置等の解説が参考になった。
- ・政権与党が変わつたことで現場にも大きな影響が見込まれる時に、全事研の活動はビビッドに対応しているなと思ひました。
- ・大変勉強になりました。
- ・身近にいてくださる存在で、その恩恵を当たり前のように感じてしまつていますが、日々の活動や報告において東部の事務職員は他地区の方より早く、詳しく全国の動きを伺っていることに感謝しなくてはならないと改めて感じました。
- ・東部にいつも理事がいて、いつも最新の情報提供がされるので大変ありがたい。
- ・財務についてお話しされていたことが印象に残りました。いただいたポスターのように笑顔の子どもたちのためにということ念頭に日々職務に取り組みたいと思ひました。
- ・事務職員としての知識・教養が高まつた
- ・現在の事務職員を取り巻く状況等がわかり、ためになりました。

- ・分かりやすい話し口であり、とても参考になりました。さすがは池谷統括事務主幹ですね。
- ・静岡県以外の他県の様子や全国大会の様子がわかり、とてもよかった。
- ・大変興味深い内容でした。今後もアンテナを高く、情報を収集していかなければいけないと思いました。(3件)
- ・重要な役割をはたしていただきいつもご苦労さまです。(4件)
- ・リアルタイムの話が伺えてよかったです。
- ・最近の全事研の動向がわかってよかったです。(7件)
- ・いつも短い時間にまとめてわかりやすい報告をしていただき、ありがたいと思います。(2件)
- ・新聞などで報じられている事柄など、少し不安な気持ちになる部分もあったが、改めて主幹から現状報告を聞くと、なんとなく慌てないで対応すればよいと安心した。
- ・全事研の取り組み、各県の状況等が聞けるので今後も継続してほしい。(2件)
- ・全事研としてどんな活動を行っているか知ることができたので、本校ではどのような活動を行えばいいか考える良い機会となった。
- ・事務長制の導入による学校の運営について学ぶことができた。
- ・運営上の制約もあるとは思いますが、もう少し時間の確保ができると良いと思います。(2件)
- ・財務に事務職員が関わっていくことは重要だと思いますが、職員の理解や協力(事務職員と同じ思い・考えになる)を得るには時間がかかると思いました。
- ・報告内容について、紙媒体で添付してほしかった。
- ・池谷さんの話は簡潔で、聞きやすかったです。(同意見5)
- ・直面している問題がよくわかりました。良かったです。
- ・全事研の活動や中央情勢を聞くことは、たいへん参考になります。
- ・文科省の概算要求の定数改善で、事務職員についてもあがっていると聞き、教育職員とともに考えていただけているのかなと思いました。また、学校現場での校納金対応も事務職員だけではないとのことで難しい問題なのだと再認識しました。
- ・学校財務ウィークの話は良かった(文部科学省 全国公立学校関係諸団体の後援をいただいて行っている事が解った)地域によって学校財務運営の差が多いという話があった。学校徴収金に関する事務処理を教員4割事務職員6割が行っているという実態は少し驚いた。
- ・財務ウィークをきっかけに、事務職員も意識改革をしていかなければいけないのかなあーと感じました。
- ・最新情報をいただけるのでありがたいです。(同意見 2)
- ・学校財務ウィーク(静岡県では、学校財務マンス)についての説明があり、よかったと思います。
- ・通常に勤務しながらの全事研活動、大変お疲れ様です。そして機会を捉えてはこのような報告をしていただき、中央の情勢を私たちにお伝えくださることに、感謝のみです。
- ・国庫負担について、学校財務担当者割合の低率など、都道府県による学校事務の違いを感じた説明だった。
- ・普通だった。
- ・資料がなかったため、後で振り返ることができないのが少し残念です。メモもしっかり取りきれなかったので自分の反省点でもあります。
- ・財務ウィークの具体的対策について知りたかったです。
- ・毎回、全事研報告をしているが、必要ないと感じる。出張も多い池谷統括事務主幹の負担も大きいと思います。(実際この話を池谷統括事務主幹は何度もいろんな会合でしている)
- ・池谷さんのお話が滑らかでさすがでした。毎年のことなのでもういいかなという気もします。
- ・講師が今回で5回目の話だと言っていたが、聞いた側も何回目かだったので、気の毒に感じました。

いつも同じ方が負担を負うことが多く、検討が必要だと思いました。

- ・特に必要性は感じないが、短時間なので許容範囲と思います。
- ・いつも代表でがんばっていただきありがとうございます。
- ・全事研の報告を聞き内容を把握する事も勉強になります。
- ・15分間の短い時間でまとめていただいてわかりやすく、良かったと思います。
- ・学校財務ワークについて、報告があり、自分でも何か取り組みたいと思いました。
- ・自校の業務に加え、全事研の業務も担当されるのは、この業務多忙の中負担であると思います。
- ・お疲れ様です。負担軽減のため、書面やHPの報告にされても良いのではと思います。
- ・わかりやすく、まとめられていたので、わかりやすかったです
- ・全事研の文書に載らない話を聞けて、興味深く聞いている。
- ・諸事情があってということでしたが、やはり口頭のみでは、わかりにくいと思いました。
- ・もう少し時間をかけてくわしく報告して頂ける機会もあるといいなと思います。
- ・簡潔にまとめられていました。
- ・全事研活動について毎回状況報告をしていただきありがたい。
- ・よかった。
- ・端的に解りやすいお話でとても良かったです。
- ・全事研の活動も身近なものに感じられます。理事の方の御苦勞に感謝します。
- ・文科省の概算要求等、内容や流れが分かっていない項目について学ぶことができました。今まで詳細が分からないまま説明を聞いていたので、色々と勉強になりました。
- ・どのようなことをしているのか聞けてよかったです。
- ・国庫負担や定数改善の問題など最新の情勢について話していただき、今後の動向に注意していきたいと思いました。
- ・時間が少なく、話し足りなかったのでは？・・・またの機会を期待します。
- ・すごく難しいお話でした。
- ・理事には15分では気の毒でした。全国情勢はぜひ聞きたいものですね。
- ・よくわかりました。今後も伺いたい。(2)
- ・ご自分の実務もあるお忙しい中役員おつかれさまです。全国の様子がわかり、交流3年目になってようやく理解できる余裕ができました。
- ・現状を簡潔に説明してもらいわかりやすかった。(3)
- ・貴重なお話を聞くことができました。
- ・言葉は簡単ですが、それを意識して仕事を実践することは、難しいと思った。
- ・とても勉強になりました。自校の職員に、分かりやすく説明ができれば、と思っています。ありがとうございました。
- ・全事研の役員の方々が、所属校の校務をこなしながら、様々な全事研の活動をして下さって事実を改めて意識する良い機会だと思います。全事研がより身近に感ずることができました。
- ・全国大会等に参加していないので、毎年、地区集会で報告していただけるのは嬉しいです。
- ・文書での報告等、他のやり方でもいいのかなと思いました。
- ・いつも有難うございます。
- ・国の施策を含めての説明がよかった。
- ・政権が変わってしまったので、報告についてのタイミングもあったと思います。来年度の報告に期待します。
- ・もう少し時間があるとよかったです。
- ・口頭だけの報告で、後部席からの話し声もずっとしていて、全く記憶に残りませんでした。

Q3 講話（学校財務マネジメント研修）についての感想・ご意見等をお書きください。

- ・表にすると、違った角度で物事が見えてくることがわかり、そういうことが必要で、あると思いました。
- ・実践の内容を詳しく聞くことができ、参考になりました。勉強になった。6
- ・思わず引き込まれるような軽快なトークが良かったです。話のテンポがとてもよく、講話の内容もとても良かったです。講師の話し方が上手で、リラックスした雰囲気の中でしっかり聞くことができました。3
- ・とても話上手で、講話が楽しかったです。私自信も財務について、学校のため、職員のために何かできないだろうか。と考えるきっかけとなりました。頑張ってみます。
- ・講演の進め方が上手で、飽きることなく聞くことが出来ました。また、実践例では、事務職員が出来ることが多岐にわたりあることに気づかせていただきました。
- ・すごく参考になりました。お話もうまいし、内容も立派でした。同じようにはとてもまねができませんが、参考にできることは実践したいと思いました。
- ・学校財務について考える、意識を高めるいい機会になりました。5 たった一人ですごい事に取り組んでいると思い、自分なりですが、学校で少し財務についての取り組みをしたいと思います。
- ・財務に関する分掌から離れていると財務に関して意識が薄くなりがちですが、意識を高めるよい機会になりました。
- ・「コミュニケーション」の話には、自分で反省しなければいけないと思う部分が多々ありました。気持ちの持ち方を考えていかなければいけないと思います。
- ・普段はなかなか教えてもらえないコミュニケーションの技を聞くことができ、大変良かった。今後は、聞く態度にも気をつけて、人と接しようと思った。隣の人と実際にやってとても楽しかった。動きのある内容だったので、楽しみながら聞くことができた。3
- ・興味が持てる内容でおもしろかったです。コミュニケーション能力のつけ方も分かりやすく実践できるヒントが見つかりました。
- ・分かり易い説明と具体的な実践例を示していただき、どういうことから取り組んでいけばよいのか考えるヒントとなりました。
- ・財務の重要性が理解できる内容でした。その内容をどのように校内の職員に伝えていくかが、これからの課題と思います。
- ・学校の会計の一括管理をしたいが、実際には多くの会計をもっておりさらに増えるのは厳しく困っていたが、多少その話が出て参考になった。
- ・11月は学校財務マンスリーということで、関連したお話が聞け良かった。
- ・隣人と財務の原則についてお互いに意志を表明したので、あらためて財務についての大切なことを確認できた。
- ・他県の方々の財務についての取り組みを知ることができて良かったです。責務の大きさを改めて、感じました。
- ・財務という視点から学校全体を見渡し、改善を考え、行動していくことで、積極的な経営参画が実現できると思いました。
- ・財務だけではなく、積極的に関わろうとする姿勢が大切だと感じました。
- ・財務=お金 という意識であったが、人・物・金・情報・時間であることを理解し、講話を聞くことができ良かった。とても楽しい講話でした
- ・宣言したことが実行できるようにしたいと思います。財務ウィークに向けて、とても良い内容でし

た。決意表明を実践したいと思います。4

- ・これから財務マネジメントについての実践方法についてどこに観点を置き、どのように職員に伝えたらいいか参考になりました。
- ・話も聞きやすく、意欲あふれるお話でした。学校内で自分がどんな取り組みができるのか、また、財務ウイークや財務マンスを意識して活動していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。違った職種の方に聞いていただくのもいいと思います。
- ・内容としては、私の求めているものではなかったのですが、これからやろうとすることを宣言させることが、手法が良かったと思いました。そのときだけでなく、意識が継続すると思いました。
- ・具体的な例なども含まれた話だったので、難しい内容に思えたがしっかりと聴くことができ、自校でも取り組むことができないう考えに向かうことができた。
- ・短時間に多くの情報をまとめてお話していただき、参考になることが多かった。学校マネジメントの実践は、実際に役立つことができるのもう少し詳細をお聞きしたかった。
- ・ただ聞いているだけでなく、隣の人と話のやりとりとかで、眠気もなく、楽しく聞くことができた。学校に関する予算について、自分にとってマンネリ化している中であって、あらためて見つめ直すいい機会になった。
- ・職員との会話も普段行っていると思っていても、まだ少なすぎる。目標をはっきりさせ、学校会計を進めていこうと思った。
- ・日頃から関わっている「財務」について、少し視点を変えた見方が出来るようになりました。学校経営参画のアプローチとしてうまく利用していきたいと思いました。
- ・実務に関係していることもあり興味深く聞くことができました。今回に限らず、次回は発展・継続する内容へと繋げることも必要ではないでしょうか。
- ・今までは学校財務マネジメントと聞くと敷居の高いイメージでしたが、普段の仕事の中にも結びついている部分があると思いました。資料としていただいた「財務の原則・知っていて欲しい10のこと」を参考に、今後も学校財務について関わっていこうと思います。
- ・講師の方の話がとてもおもしろくスムーズに頭に入ってきました。決意表明が実行できるようにしたいです。
- ・「学校財務」が学校経営にとっていかに重要であるか再確認できました。今後自分ができること、しなければならぬことが見えたような気がしています。
- ・実践例のなかの「教育課程を支える事務職員」からいつも同じ角度からばかり、物事を見ないで、柔軟な発想が必要だと感じました。こんなに立派な事は、できないけれど、現在の事が、あたりまえと思わず、仕事をしていく事が大切だと思いました。
- ・学校財務については学校予算及び学年費会計等、日常の仕事として行っていますが、「学校財務ウイーク」と結びつけて実践するのは案外、難しいと思いました。
- ・話を聞くときに、顔を相手に向ける（PCを閉じる、席を立つ）というお話が印象的でした。当たり前のことですが、今まで出来ていなかったと思うので自分もこれから意識してみようと思いました。
- ・中長期的な計画・執行を再考し、いっそう厳しくなるであろう地方財源を、いかに有効活用すべきか組織としてマネジメントしていかなければならないと再確認しました。
- ・予算について考えさせられました。できることから、徐々に始めていきたいと思います。
- ・事務として、子どもたちの「人間力」育成のために様々な面で係れること、係らなくてはいけないこと等を見直すきっかけとなりました。学校財務も含めできることを少しでも進めていけたらと感じました。
- ・大変優秀な方で、学ぶべき所がたくさんあった。

- ・学校財務について、事務職員としてどう職員を巻き込んでいったらいいか考える機会になりました。事務職員が一番かかわっていかねばならない財務について、もう一度検証する良い機会でした。全国学校財務ウィークのポスターを掲示したら、早速校長先生に目に留めていただき話をすることができました。
- ・視聴者の体をつかっただけの講話だったことと、だれにでも当てはまる内容だったので、自分自身のこととして考えることができてよかった。
- ・ただ講話を聞くだけでなく、参加ができるものだったので、自分を振り返ったり、これからことを考えながらできて良かった。
- ・「財務ウィーク」自体の中身を知らずに聞いたので、「普段からやってることなんだな」と感じて少し安心した。地域事情から市町会計から何から会計に関しては、かなりの部分で事務職員に降りている部分なのだと思いますが、逆に言えば「慣れ」が出てきている部分なのではないかとも思います。そういったことを改めて気付かせてもらうことが出来たのかなーと思いました。
- ・財務の大切さがよくわかる内容でした。また事務職員の取り組みも紹介していただき、きっかけ作りになります。
- ・レジメを紙媒体で準備したが、会場が多少暗かったので見にくくて残念だった。隣の人との意見交換の後、ざわざわして講師の話を聞いていない人が目立った。
- ・学校財務をキーワードとして、学校組織マネジメントにどのように取りかかっているのか、具体的なアプローチの仕方などがとても分かり易く、楽しく聞かせていただきました。
- ・試行錯誤しながら、校内会計の整理、適正化を行っている途中なので、方向性についての確認ができ、取り組みへの意欲を得ることができた。
- ・コミュニケーションの実技は、日常陥りがちな「…相手にしなければいい」という、マイナスのコミュニケーションにも体力や気力を使うことが実感できた。
- ・地区の研修ともリンクする内容で、事項での実践の後押しをしていただいたような気がしています。
- ・学校財務の奥の深さについて大変勉強になり、自分自身もやれるところから実践してみようと感じました。
- ・学校財務マネジメントの実践の話は、とても参考になった。
- ・私たちは市費に一切関わっていないため、「学校財務」と言うところちょっと腰が引けてしまうところがあったのですが、今回の講話から、いくつかがヒントとなるような点をいただき、私自身も取り組む視点が見えたように思いました。後は実行に移すという自分自身の問題をどう解決するかが重要であると思いました。
- ・財務に限らず、マネジメントに必要なコミュニケーションやそのための心構えなど、参考になった。
- ・財務マネジメントについての印象が変わり、取り組む意欲が増えました。
- ・財務が学校にとって、重要なことであるため、内容の確認をより丁寧にしていかねばいけないと痛感しました。隣の方と会話することにより、コミュニケーションの仕方を実践することができて、良い体験ができました。
- ・新潟市における財務健全化対策の納品時の場所や複数での確認を徹底されているというお話は、公費に対する職員全体の姿勢を見習いたいと思いました。
- ・自分の学校でも財務事務の効率化と適正化を考えていきたい
- ・事務室からいろいろなコスト分析などのデータを発信していくことなどを通して事務職員が財務の視点から積極的に学校経営に関わっていくことの重要性を理解できた。これからは受け身でなく、人・物・金・情報・時間を調整していく能力が備わっていったらと思った。
- ・各地区、各学校で学校財務について整備がすすんできているのだなと感じました。各学校状況は違うと思いますが、他地区の状況も参考にし、このまま整備が進めばいいと思いました。

- ・学校財務について、自校の問題点やあるべき姿がわかり、勉強になりました。
- ・全事研の掲げる学校財務ウィークの具体的取組が学校財務マネジメント研修であり事務職員のマネージメント力の力量アップに繋がる取組であると思われた。
- ・われわれ学校事務職員の目指す「学校財務」の方向性を目指すものとして、とても参考になる研修でした。
- ・聞くばかりの講話ではなく、コミュニケーション研修に参加でき勉強になりました。
- ・財務マネジメントは、あくまでもたくさんある業務のうちの一つであるという想いです。
- ・講話内容は、貴重なお話でしたが、日々の業務を考えるととてもやりきれないと感じました。
- ・話し方が上手で、ききいってしまいました。ただ自分としては、何から手をつければいいのか考えてしまいます。
- ・学校財務の望ましい制度・財務マネジメント能力・コミュニケーション基本、能力等の講演は、日々仕事で重要と考えていた事を具体的かつ整理されていて自分自身を見直すきっかけになりました。
- ・事務職員の重要な仕事である財務についての知識・心構え等を改めて考えるよい機会であった
- ・コミュニケーションの練習で相手の意見を無視するのは、なかなか難しく、おもしろかったです。とても勉強になりました。もっとたくさん時間をかけて、話をききたいと思いました。
- ・人件費を含めた予算比較については、こちらで人件費を調整できたいため、意義が理解できませんでした。「予算」という概念を学校に持たせるためには有効な手段なのかな、と思います。
- ・少ない予算でも、項目毎に考えることは重要だと思います。
- ・教育委員会の方にも聞いていただき、学校長の裁量拡大について考えてほしいものです。
- ・取り組みやすい内容から、中・長期的な目標を設け、学校経営への切り込みをしたいと思いました。
- ・今後の課題を改めて意識することができました。
- ・いろいろやらなければならないことを気づかされたが、時間がなくて手が回らない現実がある。
- ・総括なのだから、一手に会計を直接、引き受けるのではなく、助言や、アドバイスをするなど協労関係を強化することが大事だと思う。事務職員が全て会計を持ち、集中することも、財務上危険だと思う。
- ・全事研の学校財務に関わる考え方が先進的で実態ともマッチしていると感じた。
「学校」事務職員としての役割は学校の中でいかに経営に参画するかという所に重要性があると感じていたが、本来事務職員に関わるべきでない（筋が通らない）案件に関してもそれを促進するアドバイスや助言・進言で重要な位置づけをもつことは十分可能であると考えを改めることができた。
- ・非常にためになった部分（全般的に）と、非常に行政的な発想だなと感じる部分（大阪の取り組み）がありました。行政的な発想は、「行政職として」必要なことであると思いますが、「学校事務職員として」効率化や負担軽減を突き詰めることと、教育活動として充実した行事とすることのバランスを取れるようにならないと感じました。
- ・学校財務を考えるときに、人件費まで含めたフルコストで考える、と言う発想はおもしろいと思った。が、どのようにグラフの割合を考え分析しているのかが分からないのでその他の部分についてもう少し時間をかけて聞きたかった。
- ・コミュニケーションの実践より（インフルエンザの流行もあるので）財務についての内容をふくらめていただきたかった。
- ・コミュニケーション演習を通して、先生方との話し方等少し意識してみようと思いました。
- ・財務を司ることにより、学校経営全体に関わることになるということを再認識した。
- ・聞きやすく、具体例にとんでいて大変有意義な講義でした。

- ・財務（経理）を実際に担当している地区にとってはタイムリーな講話で共感する部分が多くあり勉強になった。プレゼンも大変わかりやすくよかった。
- ・よかった。
- ・「マネジメント」のこと、「学校財務」のこと、とても解りやすいお話で、各学校で取り組みやすい“導入”となったのではないかと思います。
- ・『学校財務ウィーク（マンス）』に時期的にも合致し、各学校で実践するための勉強会になったと思います。
- ・普段から関わっている内容でも、制度や流れをきちんと理解せずに追われるまま進めていたことが多かったため、今回の講義はとても勉強になりました。自身の意識改革の必要性、専門性を身につけることの重要性など改めて気づくことが多く、今後の事務改善をどのように行っていくかを考えさせられる内容だったと感じます。
- ・市町の財政状況や会計処理方法が異なるため、参考にはなるが実践は難しいと思った。
- ・小ホールでの講義形式のため、どうかな～と思っておりましたが、さすが横山さん。大変すばらしい講話であったと思います。やはり参加・体験型の研修いいですね。
- ・学校全体の執行額から人件費の割合を出すなど、思いもつかないデータが紹介され驚きました。
- ・学校事務職員ということもあり、非常にわかりやすく、また共感できるものでした。
- ・パワーポイントで上手にまとめられていて、わかりやすかったです。管理職にもみてもらいたい内容だと思いました。（2件）
- ・わかりやすく意義のある研修でした。自分の足下からまず進めていくことだと実感しました。（4件）
- ・相手に話しかけられた時には、パソコンを閉じる、立つというように私も行動を表してコミュニケーション能力を身につけたいです。
- ・演習等も入れての講話だったので良かった。（4件）
- ・コミュニケーションの大切さを実感しました。わかりやすい、楽しいお話でした。（3件）
- ・事務職員の心がけ次第で生きたお金になることが実感できました。税金と保護者からの預かり金という認識をしっかり持ち、長期的な思考で事務職員としてできることを一つずつ積み重ねていきたいと思いました。
- ・財務についてよくわかりました。引きつけられる御講話でよかったと思います。（3件）
- ・体系的な考え方から実践方法、アプローチの仕方など具体的に講話をしていただき、とても良かったと思います。
- ・いろんな市町の学校で、それぞれの方針にそった学校経営があるが、みんながイメージしやすい講話だったと思う。
- ・学校全体を見渡すという中には保護者・地域社会も取り込んでいたように思え感心しました。コミュニケーション能力もすばらしくきっと講師の方の学校では未納問題はないのでは（色々なデータ資料を基に説明されたら、まともな保護者だったら払う）と思いました。見習うことは難しいけれどもできる限り頑張りたいと思っています。
- ・今後、仕事を進めていく上で参考になった。また、良い刺激にもなった。（5件）
- ・とても大切なこととは思っているが、日々の業務の中ではなかなか一つのことが掘り下げられないのが現状。
- ・財務マネジメント能力が大切であり、お互いを理解して運営を行う必要があると感じた。（3件）
- ・短時間ながら、久しぶりのマネジメント研修の一部を受けて、新鮮な研修の一時をすごすことができ、日頃のマンネリな考えを見直す一助になりました。全員参加型の研修の一つとして、今後も継続していただきたい。

- ・事務職員は学校財務の中心的な役割を担っていますが、自分にできることはまだまだ少ないと感じました。これから来年度の創立20周年記念事業の準備が始まるので、総務部として積極的に取り組み、企画力・調整力を伸ばしていけたらと思いました。
- ・学年会計等について予算もなく執行しているため、今後予算を立てるよう提案していきたいです。
- ・横山さんのお話ぶりは、各地でご講演されている様子でプレゼンテーションも含め非常に聞き取りやすい内容でした。直接財務（市町予算）を担当していないため自校での課題が明確になったとはいえませんでした。帰校後、町職の事務担当者にポスターの件を話しながら財務の認識の重要性についてお話をしてみました。「財務」と「会計・経理」などとの定義の違いについてお話いただけたらよかったですと思いました。何故「財務」かとの認識を深めたい・・・
- ・前回同様、お話が上手で、聞きやすかったです。（同意見 6）
- ・わかりやすく気持ちよく聞くことができました。財務について「やれー」と背中を押された気がしました。
- ・分かり易いお話でした。11月1日からの財務ウィークの取り組みにさらなる力をいただいた感じがします。給与や公費私費の視覚に訴えた資料は、教員の理解も得やすいと思います。ぜひ実践してみようと思います。
- ・市内全体研修のときとはまた違った講話をきくことができ勉強になりました。
（同意見 2）
- ・講話の内容は、2度目のため分かりやすかった。
- ・いつも思うのですが、同じ事務職員とは思えないぐらい、お話しがなめらかでプレゼンテーション能力もすごいと思いました。
- ・予算は、何をどのような目的でいくら使用したのかを、公開することが信頼確保につながり、大切だと感じました。また、仕事をする上で、コミュニケーションをとることの大切さを感じました。（3）
- ・事務室にいと、事務室以外の人と話す機会が少なくなりつつあるので、いろんな人と話をしていると思いました。そうすることで、視野も広げることができるし、仕事もきっとやりやすくなるのではと思ったからです。
- ・学校財務は、子どもたちの「人間力」育成が目標であり、学校教職員の能力向上にもつながるものだとわかりました。信頼関係も大事なことであること、コミュニケーション能力を身に付けていくことから始めることも大切だと思いました。
- ・学校に居ると言うことで子ども達の意見をきいたり、地域の方達と関わったりすることでより有効的な財務マネジメントができると思った。横山統括事務主幹のコミュニケーション力についての実技は大変効果があったと思う。
- ・自校でどのように学校財務に取り組んでいくか、自分の決意表明をすることで目的を持つことができたと思う。
- ・「財務の原則・知っていて欲しい10のこと」は、財務の基本が述べられており、職員に説明する際の参考資料となります。決意表明も、ちょっとプレッシャーになり、良いことでしょう。
- ・コミュニケーションをとる事の大切さがわかった。（同意見 3）
- ・うなづいたり、返事をしてもらえない時の話ずらさがよくわかった。決意表明することで何かやらなければならないように感じられました。
- ・今回も「なるほど」と考えさせられる内容でした。普段の仕事に生かしていきたいです。
- ・隣の人とのコミュニケーションが楽しかったです。職場で大切にしていきたいと思いました。
- ・話を聞いているだけでなく、少し参加型でよかったと思います。
- ・とても勉強になりました。私たちがどのような考えを持って関わりをもてばいいのか視野が広がっ

た感じがします。

- ・最近の課題のひとつですがコミュニケーションの基本を確立しなくてはいけないと思いました。
- ・横山主幹のお話はとても聞きやすく、わかり易く、いつも聞き入ってしまいます。今回も、自校でできる財務の取組みについて、何が実践できるかを具体的に考える機会も与えていただき、復命で学校長に、これをするつもりです、と宣言しました。(たいした内容ではないのですが)
- ・学校に事務職員が一人しかいない状況で、自校を細かく分析する時間は取れないが、少しずつでも、自分にできることをやっと思いこうと思った。ただ、後半のコミュニケーションが盛り上がったため前段の財務マネジメントの内容を忘れてしまいそうでした。
- ・市内の全体研修で取り組まれている内容でもありその点ではよかったが、どのように実践しているか具体例が多く聞くことができたらさらによかったと感じました。(2)
- ・一度市内の研修会で話をきいているので、おさらいのような感じだった。財務ウィークの目的が、まずは事務職員の意識改革にシフトチェンジしている、というのがちょっとショック。事務職員が外に向けて発信するための期間だと思っていたから。
- ・あの状況(インフルエンザ蔓延時期・マスク着用)で、隣との対話は、あまり好ましくないと思いました。
- ・マスクをして集まっている状況の中、熱いトークをさせることの危険性を考えてほしい。(2)
- ・貧困市町では、総額裁量制など夢のまた夢、校長決裁権もなし、事務職員個人の力では如何ともしがたい。(2)
- ・とても勉強になりました。学校徴収金について見直しをしたいです。
- ・この話も、管理職と一緒に聞いて、学校全体で考えることができればいいと思います
- ・学校財務マネジメントにおいて、コミュニケーションが大切というお話で、演習を行って、コミュニケーションの基本を実践しながら理解できよかったと思います。(8)
- ・事務職員もそれぞれなので、取り組めるところから取り組んでいきたい。(2)
- ・言いたいこと(伝えたいこと)はよくわかりました。でも学校(現場)の意見を採り上げず、受益者負担は当たり前、市にお金がないから学校徴収金に頼るのも当たり前と発言する市当局の体制が変わらない限り、公立小中学校は解決の策がないことを改めて感じました。
- ・興味深く聞くことができた。参考になり、ためになる講話だった(3)
- ・学校財務について他県での取組みや財務に対する考え方が学べて参考になりました。(2)
- ・財務マネジメントの必要性をわかりやすく話していただき良かったと思います。
- ・何かを行おうとすると張り切りすぎてまわりが見えなくなりがちなので、コミュニケーション能力を持たないといけないなと感じました。
- ・横山主幹の慣れた講話に吸い込まれるように聞き入り、学校財務を通して少し刺激を受けました。コミュニケーション能力をみがきながら学校運営スタッフとして、積極的に事務室から発信していくことが大事だと思いました。
- ・わたしは「財務」という言葉を聞いて、「お金」しか思い浮かびませんでした。その他にも人、もの、情報、さらには時間も含まれると聞き驚きました。
- ・普段分かっているつもりでも実践できないことが多いので、コミュニケーションを通して、先生方とも協力して財務について考えたいと思いました。
- ・同じ事務職員の方なので、大変親近感を持って聞くことが出来ました。1時間少々の講義でしたが、あっという間に時間が過ぎました。(4)
- ・横山さんの話は、講話のペース配分やパワーポイントを利用した内容等飽きのこない発表でマネジメント能力の高さを感じました。「学校財務」の捉え方や考え方が大変ためになりました。実践することの難しさを、すぐ考えてしまいますが、「あなたの決意表明」等ぼんと背中を押された感じで、できることから・・・意識付けやきっかけになると思います。

- ・財務ウィークの前に参考になるお話をお聞きできて良かったと思いました（２）
- ・もう一度この機会に、財務の勉強をしようと思います。
- ・市費予算は担当していないが、学校財務の重要性をあらためて認識しました。
- ・出来る事から一步一步取り組んで行きたいと思います。
- ・学校財務という切り口から、学校経営に参画していきたくないと、思いました。（２）
- ・現状から課題（市職員との連携・学校体制のあり方）は多いですが、一歩ずつ進めて生きたいと思っています。
- ・自分自身が学校財務に積極的に係わることで学校経営に参画しているので、実践例等とても勉強になった。
- ・大変わかりやすく、自分でも何かできそうだな、と思わせる講話でした。
- ・学校全体の財務の状況を把握することは、とても重要。そのために予算・管理・監査・報告は大切であるが負担は大きい。なるべく負担なく管理できるといいと思う。全職員に状況を報告するコミュニケーションが大切だと思った。
- ・市費を担当していたころの気持ちをよみがえらせてくれる内容で、刺激になったのでとてもよかったです。
- ・さすが統括事務主幹であり、全事研副会長でもあり完璧な事務職員としての講話だと思いましたこれからの事務職員の目標になると思います。
- ・パワーポイントはシンプルで見やすく良かった。
- ・財務といいながらコミュニケーション能力も兼ね備える必要性・・・努力したいと思います。
- ・コミュニケーションの大事さや財務についての実践など、ためになる話が聞けてよかったです。
- ・学校財務マネジメントについて難しくなじめない印象を持っていましたが、学校財務マネジメントとはどのようなものか、まず自分ができることは何かがわかりました。
- ・普段行っていることですね。ちょっとしたアイデアで良くなりますね。
- ・学校全体をコストで把握するという考え方は、取り入れたいと思いました。わかっていることですが、コミュニケーションは大事だと再確認しました。
- ・当たり前なのに気づかされる場面もあり、大変参考になった
- ・学校財務については、自分自身意識が低いなあ・・・と反省しました。目的を持って、全体を見渡した財務を行わなければならないなど、意識の面でも実践面でもいろいろなことが本当に勉強になりました。
- ・タイムリーというより、横山氏は全事研で直接この国委託事業に係った方でしたので、本当は演習もやれたらよかったですね。人数的には無理か。でも横山氏のわかりやすい説明はいつも感心します。
- ・わかりやすい講話で大変参考になりました。学校徴収金については、今後も保護者負担軽減となるよう、検討し、見直したいと思います。コミュニケーション能力も身につけたいと思います。
- ・講話のテーマを見たときは難しいというイメージしかなかったけど、講話を聞いていろいろな角度から考えることができ、身近に感じることができました。
- ・大変興味深く聞かせていただきました。特に公費と私費の割合のグラフや学校経営総額の割合は、交流できているため私費の負担の多さに驚いていて、他校の様子もわかり参考になりました。
- ・日頃やっていることをもう一步踏み込んで進めていく必要があると感じました。
- ・説明がとてもわかりやすく、実際にその場で演習をして、コミュニケーションや財務について意識もでき、自分が学校で何をしたいのか再確認することができました。
- ・これから学校会計を考えていく中で、講話を生かしていきたいと思いました。
- ・わかりやすかったです。後半の「決意表明」では、「やらなきゃ！」と思わされました。

- ・教育の現場においても切り離すことができない財務のことは大変重要であることを感じた。
- ・自分の課題を新たに追求するきっかけとなって良かった。
- ・学校財務マネジメントといっても、なかなか内容も難しいが、学校における事務職員の位置づけが重要視され、責任の重さを再確認した。
- ・とても勉強になりました。自校の職員に、分かりやすく説明ができれば、と思っています。ありがとうございました。
- ・自分の中での意識付けにはなったが、さてどこから取り組んでいったらいいのか、思案しているところです。
- ・学校財務が事務職員の職務や学校経営参画において重要な位置にあり、だからこそ事務職員一人の力ではなく、職員全員で理解し、遂行することの必要性をより実感しました。
- ・学校行政職員として、いつも財務のことは頭にありますが、管理職、教員、保護者に、いろんな情報を発信し、共有して、経営・管理していかなければ、学校経営力は向上しないということを強く感じました。
- ・聞き入ってしまう話し方で、途中にコミュニケーション研修もあったのでおもしろかったです。
- ・コミュニケーションの大切さがわかりました。
- ・財務マネジメントをマンネリ化させないよう心がけるようにしたいとおもいました。
- ・各校で財務に事務職員がどの程度かわかりを持っているのかわからないが、個人的には今後、参考としたいと思う講義内容でした。
- ・堅苦しい話かな？と思っていたのですが、何となくやわらかく、聞きやすく自然にすっと受け入れられる感じで、よかったです。会を運営していくことは大変なことですね。ありがとうございました。
- ・飽きのこない説明、財務に対する事務職員のあるべき姿がうかがえた。
- ・教員の理解を得るには難しいと思います。

Q4 今年度地区集会の運営方法や全体を通しての感想・ご意見等をお書きください。

- ・研修推進委員の皆様、お疲れ様でした。事務所と共催でないので、運営上で違った点で大変だったのではないかと思います。ありがとうございました。(2)
- ・運営も時間設定など良かった。(2) すっきりしていて無駄がないように感じました。
- ・ずっと座りっぱなしで聞いているのは少し疲れました。
- ・座席をあらかじめ、指定しておくのは効率的な方法であると思います。
- ・持ち物の資料が一度で全部HPから打ち出しが出来るようになればいいなと思いました。(今回は追加があったりしたので)
- ・資料類がHPからダウンロードできた事は便利でした。個人的には資料郡が電子媒体で提供されることは大変スマートなやりかただと思います。ただ、この資料はこっち、この資料はあっち…みたいに分散取得しなければならないこととか、追加、追加で連絡が来るのは混乱の元だと思います。
- ・スムーズな運営、進行で良かったと思います。係のみなさまにはお世話になりました。
- ・司会の方の声のトーンが落ち着いていて聞き取りやすかったです。
- ・午後から開始で、会場や時間設定も適切であり、良かったと思います。(11)
- ・形式等は良い。時間も内容も良かった。(2) 新しい制度改正があった時はこのような形の講習があるとよい。
- ・開始の時間が早くあわただしかった。(2)
- ・開始時間が中途半端だったような気がします。仕方のないことと思いますが…
- ・開催時期が、月末になるのは、避けて頂きたい。少し忙しかった。(2)

- ・午後半日の日程は東部両端の地区の方は移動時間がかかり、学校での勤務が中途半端になりそうで大変ではないかと思う。やるなら1日の方が時間を有意義に使えるが、今年から事務所の研修がなくなったのではないとも思う。
- ・半日の研修会であれば、会場等の都合があると思いますが、午前中の方がいいです。
- ・遠方よりの出張で半日の日程では、もったいないような気がします。金曜日の方が良かったな、と思います。2 時間的にはとても良かったと思います。
- ・大変かもしれないが、1日日程にして、時間的余裕をとっても良いと思う。
- ・開催時期が、月末になるのは、避けて頂きたい。少し忙しかった。(2)
- ・全体での講話を聞く機会に恵まれ良かった。
- ・全体会で良かったです。
- ・内容も時事的でよかったと思います。有意義だった。充実していた。勉強になった。今後役に立つ。

1 1

- ・半日日程の中に、ボリュームのある内容を盛り込んでくださって、計画が大変だったと思います。ありがとうございました。
- ・条例改正の講話、財務マネジメントの講話と集中して聴けたので半日の集会でよいと思います。
- ・講師の先生方の講話がとてもスムーズだったし、内容的なものも良かったのであつと言う間の閉会だった。全体会だけだと疲れますが(飽きやすい)内容が身近な事で良かった。
- ・全体的に内容も実務に即した内容で組まれていて良かったです。
- ・今年の内容はとても良かったと思う。実務をやってほしい。今回、ちょうど、勤務期間条例の改正があり、とても分かりやすかった。来年は、何があるか分からないが、今回のような実務的なことをお願いした。
- ・その時に必要な話(講話・講演)を聞けることはありがたいと思います。
- ・三島市民文化会館で13時開催というのは良いと思います。電車で帰ることを考えると終了時刻を10分くらい早く設定していただきたいと思います。
- ・遠い近いはお互い様で仕方がないので問題にはしませんが、あえて言うなら駐車場を確保できる場所で設定してもらえるとありがたいです。(遠いのは慣れているのであまり気にしません)
- ・たまたま近くに座った他地区の方と、情報交換できたのが良かったと思います。
- ・半日の予定の割に、昼食時間帯にかかり、学校を早く出なければならず、仕事も研修も中途半端になってしまい、もったいない気がした。(月末でもあったので)駅に近い会場だったので便利で良かった反面、駐車場が無いのが困った。
- ・開始時間が早まったため、少々忙しかったです。
- ・午後日程で、すっきりしていて良かった。
- ・コンパクトに必要なことが凝縮された良い集会だったと思います。役員の皆様お疲れさまでした。
- ・大変良かったと思います。
- ・勤務時間条例改正の講話はタイムリーな話題で良かった。来年度もこのような法改正等に関する事務処理内容が発生するようなら、取り上げてほしい。
- ・勤務時間条例改正、全事研報告、学校財務マネジメント研修、いずれも時宜を得た、内容の充実した研修であったと思います。また、時間どおりの進行など研究推進委員の皆様企画・運営力の賜物であったと感謝します。各地区にあっても研究の推進として地区の会員をリードし、県の方針の周知や意見の集約等の活動ありがとうございます。
- ・委員の皆様、いつもお疲れ様です。
- ・ちょっと時間的に忙しなかった気がします。
- ・受付での名前のチェック等がなかった為、混雑することなくスムーズに入場できました。

- ・半日の開催ですが充実しており、職務に対する姿勢や勤務時間の条例等とても勉強になりました。貴重な時間をいただきありがとうございました。
- ・講話等とても勉強になった
- ・各自資料をダウンロードしてプリントアウト・・・というのはいいと思いました。
- ・大変良かったので、この形式でまた、お願いしたいと思いました。
- ・非常にコンパクトな運営方法と思われました。
- ・講師の先生方、運営スタッフの皆様等のご努力に感謝申し上げます。
- ・学校を空けてまで全体で集まる事が必要なのか、疑問を感じます
- ・今回のように午後からだと余裕をもって研修に参加できます。
- ・午前の事務所主催の研修会がなかったので、半日で良かった。
- ・ただ、内容的には、目新しいものはなく、研修会のための研修内容だと感じました。
- ・来年度以降は、行うべき内容がある時のみの開催でも良いのでは。(出張の精選をしている昨今なので…)
- ・皆さん忙しい中での運営お疲れ様でした。
- ・半日ですので、内容を精選して行ったらどうでしょうか？
- ・今回はいくらか時間が足りなかったような気がしたのですが・・・
- ・半日出張は集中して聞く事ができ、時間が短く感じられる程でした。
- ・全体の時間配分が調度よかったと思います
- ・業務が煩雑になり、研修機会を削り、業務に充てることを考えなくてはならない状況になりつつあります。各地区で同様な状況であれば、隔年の開催にする等考える必要があるのではないかと思います。
- ・実務内容に沿っていたので、大変勉強になりました。
- ・午前中、何時間か仕事をしてバタバタと出張して、なんとなく落ち着かなかった。1日研修する時間も今となれば貴重な時間だったなあと感じてしまった。
- ・問題ないと思います。
- ・お忙しい中、お疲れ様でした。運営方法等に際だった問題点はなかったと思います。資料等も事前にHPからダウンロードする方法であったので、受付等での混雑も起こらないので良かったかと思います。あえて挙げるとすれば、前席との間が狭く、男性には窮屈であることです。(仕方ないですけど)
- ・時間的にも2つの講話で目一杯なので、良かったと思います。お疲れ様でした。
- ・予定通りのスムーズな運営でとてもよかったですと思いました。
- ・今年度は午後からの半日日程で行われたので、コンパクトにまとまっていて良かった。
- ・新型インフルエンザ流行の中での小ホールでの全体研修、大変御苦勞があったかと思います。体調の悪い方もいたかもしれないので、内容を厳選してもう少しゆとりを持った研修ができればと思いました。
- ・半日開催で内容も十分であった。
- ・時間配分、内容ともによかった。
- ・半日の開催はあっという間でした。
- ・3本立ての講話でしたが、全てタイムリーで、解りやすい内容でとても良かったと思います。単独開催になり、研推の皆様にはいろいろ御苦勞もあったことと思います。お疲れ様でした。
- ・毎年、地区集会を開催していただきありがたく思います。止めることは、いつでもできますが、継続することの意義は大きいと思います。過重な負担とならない計画(企画)で続けてください。
- ・時期・会場ともによかったと思います。インフルエンザの流行でご苦勞も多かったと思いますが勉

強になった集会でした。

- ・ 蕪山時代劇場を会場にしてもよいと思う。交通機関が原則としても、交通が不便な学校は自家用車を使うしかない。
- ・ 市町ごとの指定席の場所が去年と同じだったので、毎年ローテーションしてほしい。メモが取りにくいので机のある会場がいいです。
- ・ 大変よい研修会でした。研究推進委員さんご苦労様でした。(7件)
- ・ 来年も同じ運営方法がよい。
- ・ 聴講型だったので、気楽に参加できた。
- ・ 午後のみで開催だったが、十分充実した研修だった。(5件)
- ・ 始まる時間を別にしてよかったですと思います。
- ・ 2つの講話ともタイムリーな話題なのでとてもよかったです。(4件)
- ・ 半日というのはよかったが、できれば午前中の方が・・・少し中途半端な時間になり自分の仕事がやりきれない。
- ・ 東部全体で集まることが少ないのでいい機会だと思った。
- ・ 勤務時間条例の講話の中で質疑時間が短く、質問者がいたにもかかわらず打ち切られたのは残念。予め3、4人程度の質問等を受ける時間設定をしてくれるとよかったですと思います。
- ・ 会場の設定から運営まで色々ご苦労があったかと思います。おかげで、とても有意義な会になったと思います。お疲れ様でした。(2件)
- ・ どうせならば、事務研で10時からはできないでしょうか。中途半端です。
- ・ 半日日程がやむを得ないでしょうかね・・・？せっかく東部各地から時間をかけて集まってくるのですから10時開始で16時頃までの日程で開催してもどうでしょう？私たちは三島に近いですが賀茂の方は1日かけての出席になるわけですから・・・
- ・ 語り上手な講師陣のおかげで、時間が大変短く感じました。
- ・ 勤務時間条例も財務マネジメントもタイムリーな話だったのでとてもよかったです。
(同意見 3) 何かしなければいけない気持ちになりました(財務)。
- ・ 限られた時間の中で、今必要な情報を提供していただいて内容が濃いものとなった。例年一日行っていたが研究推進委員の方達の負担も考え、半日で充分だと思った。毎年いろいろな条例が変わり学校を取り巻く諸条件が変化していく現在、文書だけでは解りにくいため、東部地区集会等で説明していただくと有りがたいです。
- ・ 始まる時間、終了時間も調度よかったですと思います。(同意見 4)
- ・ 今年度は午後からだったので、時間に余裕がもてたのでよかったです。(同意見 2)
午後の半日というのはとても良かったです。分散会がなく半日という集会も隔年でやると良いと思いました。函南や蕪山より乗り換えが少なく、食事するところも多いので、場所としては良いと思います。
- ・ 全体会形式は精神的ストレスが少なくてたいへん受けやすいです。
- ・ 整然と行われた感じがしました。ここに至るまでのご苦労を感じました。お疲れ様でした。
- ・ どの集会も、図等があったりしてわかりやすかったと思う。
- ・ 分科会がなくって研推の方は少しは荷が軽くなったでしょうか。しかし、インフル対策で気を使われたことでしょう。
- ・ 静東教育事務所との共催(開催通知)であるため、出張しやすかったと思います。
- ・ スタッフの方々の影の努力があつてなりたっていると感謝しています。多忙の中、地区集会の企画・運営のために費やす時間も多と思いますが、おかげでとても勉強(ため)になっています。
- ・ 資料を各自プリントアウトして持参するのは、負担が少なくよかったですと思います。

(同意見 2)

- ・受付がなくスムーズに会場に入れた。
- ・今回のような運営方法は、良かったと思う。実務に関する講話をお願いしたい。
- ・ご苦労様でした。
- ・三島市民文化会館は座席シートが狭く、窮屈でした。(半日だったのでまだよかったです。) (同意見 6) 気分が悪くなった人もいたようなので、少し心配です。
- ・三島文化会館は交通の便が良くて助かりましたが、会場が狭くて足下に荷物が置けなかったのでメモがとりにくかったです。
- ・勤務時間条例、学校財務と、タイムリーな内容で興味深く研修できました。ただし、ずっと座っての研修だったので、たった半日とはいえかなり疲れました。(座席が狭かったこともあります) 今回のような半日の事務研単独での研修は、時間的にもったいないな、という気がします。午後からの研修でも、学校は午前中いっぱい勤務できるわけではないので、時間を有効に使うなら午前と午後の形態を変えて終日実施したほうが有効な気がします。
- ・会場の関係で致し方ありませんが、午後から開始なら30分遅くしていただけた方が出るのに楽です。
- ・午後だけの集会だったので時間的に余裕がありました。学校を午前中の途中から出なければならぬということはありませんが仕方ありませんね。
- ・限られた時間内で行い、また各担当者の負担軽減を考慮するとこの方法で充分とも思いますがせっかく東部が一堂に会しての開催であることを有効に活用するなら、過去に行った分散会法式もあっていいのではと、思います。毎年やはり負担が大きいので、隔年で考えてもいいと思います。
- ・特に支障もなくよかったと思う。ただ、充実感は例年ほどなかった。半日だから？
- ・月末の開催について、検討してください。せめて25日頃になれば、仕事が助かります。

(同意見 3)

- ・1日の内容が、半日となった感があった。
- ・インフルエンザ蔓延時期にこの程度の内容なら敢えて開催する必要もないのでは？・ちょうどいい時間設定で、よかったです。運営準備等ありがとうございました(6)
- ・半日という短い間でしたが、内容が充実していてとても勉強になる研修でした。(2)
- ・条例改正の説明による実務研修とマネジメント研修の分野が違う研修で運営されよかったです(3)
- ・講話のテーマがとても良かったです。勤務時間条例改正や学校財務の理解が深まりました。
- ・会場の都合もあるとの事ですが、開始を13:30位にしていただけると助かります。
- ・三島文化会館は交通の便はいいと思うのですが、座席間せまい(7)
- ・開会時間が早まり遠方の方は大変だったと思いますが、終わりが早いことのほうが助かると思います。(遠くに帰る人のことを考えると)
- ・半日日程なので、ちょうどいい量だったと思います。
- ・資料等をHPからダウンロードでき、事前に読むことができよかったです(2)
- ・3時間の日程にこれだけの事をやらなければならないのか。じっくり研修できる集会があってもよいのではないかと。事務所との共催から離れた今回を契機に研究推進委員だけでなく組織として研究集会を見直す必要を感じました。
- ・来賓挨拶などなく、すっきりした進行で良かった。
- ・午後のみになったのは良いと思いましたが、研修の時間が少し中途半端なようにも思えました
- ・研究推進委員のかたには、大変お疲れ様でした。(2)
- ・開始時間がはやく、大変でした。開始時間を遅くしてほしい。(2)

- ・研修の機会もますます少なくなるので地元で全国大会並の講師の話が聞けるとうれしいです。
- ・シンプルでよいです。内容が研修の評価につながります
- ・ここ数年の講話で一番勉強になった講話だった。
- ・事務所との共催でなくなりましたが、半日だと三島の小ホールの椅子でも、なんとか我慢できるのではないのでしょうか。
- ・情報部からのパスワードの連絡ですが、事務所や中西部の事務職員も参加している中で、画面で表示していたので、ある意味オープンと捉えていいのでしょうか？
- ・企画運営お疲れ様でした。県大会の運営等研究推進委員の負担が増えていく状況がありますが……
- ・半日の日程でしたが、内容も濃く運営方法も良かったです。(2)
- ・スムーズに進行していたと思います。
- ・会場は地理的にも広さもちょうどよかった。
- ・事務所の説明が無くなり半日日程になったが、13時開始では時間的に半日も1日もあまりかわらないよう感じた。
- ・時間(長さ)も適当でタイムリーな講話もあり、よかった。
- ・聞き手を飽きさせないお話で、良かったと思います。
- ・学校財務の講話はとても勉強になりました。また、是非同じような講話で、いろいろ事務職員の方の実践例も交えた講話を聴いてみたいです。
- ・時間配分や内容も充実していたと思います。
- ・横山統括事務主幹の話聞くことができ参考になりました。
- ・1時からの開始で時間的には忙しかったが、運営は良かったと思います。
- ・勤務時間条例改正の講話とか学校財務の講話とか、実際の仕事で役立つものばかりで勉強になりました。
- ・学校の業務はもちろん、それ以前に人としての大切なコミュニケーションについて触れることができたことをうれしく思った。
- ・時期の設定いろいろと大変であったと思います。係りの皆様ありがとうございました。
- ・担当者の負担が大きいので、講師を招いて講演を聞く形式がよいと思う。
- ・役員の方々、お疲れ様でした。
- ・受身の研修会だったが、内容・会場・時間等も適切でよかったと思う。
- ・それぞれの講話がとてもタイムリーで有意義な集会でした。
- ・短い時間の中でしたが、盛り沢山の内容で、大変充実した研修会だったと思います。
- ・今年から教育事務所がやめたように、地区集会開催の見直しをしてもいいのではないのでしょうか？
- ・会場の都合で仕方の無いことですが、開始時間が13:00だったので学校を出る時間に苦慮しました。
- ・今回から午後一本でしたので、何か物足りませんでしたね。事務所の事務連絡もありませんでしたし。

2 来年度の希望

Q1 来年度地区集会は、どのような形式の運営を希望しますか。

地区名	賀茂	田方	三島	東豆	駿東	沼津	富士	富士宮	合計
全体会	21	26	17	17	34	29	23	24	191
全十分	1	2	1	2	4	7	3	6	26
その他		1	2	6	2		2	2	15

- ・半日日程ならば、本年度程度にならざるを得ないと思います。

その他の内訳

- ・ 隔年、必要に応じて2 ・ア、イの隔年開催1 ・開催しない2 ・
- ・ 午前中から実施なら隔年でイ ・その時々テーマで ・無回答 等

Q2 全体会は、どのような内容を希望しますか。具体的にお書きください。

- ・ 実務的な講話、講義。制度改正、条例改正等の説明。法規研修。日々に役立つもの。35件
- ・ 今年度と同様で県教委の方からのサービス関係で講話が聞けるといいなと思います。9件
- ・ 講演が良い。(タイムリーな) 40件
- ・ 職務に関係する内容のものとは一般教養が広がる深まる内容のもの
- ・ 政権交代で1年後がどういう状況になっているかわからないが、危機感というか、今のままではダメなんだと感じ取れるような講演ができる、事務研や教育関係者でない人がいいと思う。具体的には…わからないし、地区集会ではそういう人は対象外？
- ・ (講師) 静岡大学 藤原教授 2件
- ・ 今回の学校財務マネジメントのように、学校に勤務しているまたは、携わっている方の話を聞きたいです。自分の仕事と照らし合わせて考えることができたり、すぐにでも取り入れてみたいと思う内容がたくさんありそうなので・・・
- ・ 今後の学校事務について、共同実施等の話。
- ・ 社会保険、厚生年金、国民健康保険等
- ・ 接遇についての講演 講師名：平林 都さん
- ・ 食や健康に関する講演会
- ・ 研修意欲を向上させるもの
- ・ タイムリーなもの 4
- ・ 時事的内容の講話…今回の勤務時間条例の改正や参考になる取り組みの発表や講話…今回の学校財務などのような
- ・ 「講師：県教委職員」 内容 「政権交代で文部科学省行政がどのように変わったのか。それを受けて県教委の方針等もどのように変わったか等の話をお聞きしたいです。」
- ・ 「研修」がその人の有効なツールとなり得るかは個人の資質にかかっており、知ろうとする姿勢や努力がなければ何の役にも立たないと思います。個人で出来る研修は個人でやるべきであり、必要ならばセミナーでもなんでも行くべきだと考えています。公務出張として出掛けるのだから、やはり職務に直結した内容がいいのではないのでしょうか？
- ・ 講義…理想の学校教育実現で目指す学校の姿の中で、学校事務職員はどのような存在であることを期待されているのか
- ・ 以前講演していただいた事務職員の研究報告について
- ・ 事務研報告(東部・県)(中央情勢・他県の情勢・取り組みについて等) 4件
- ・ シンポジウム(分科会の基調提案になるようなもの)
- ・ また、県大会のように、各校の取り組みや自主研修等の発表などがあると、経験年数の少ない事務職員にとっては、とても参考になると思います。
- ・ 地区の研究実践発表(東部に限らず中西部、政令指定市) 2件
- ・ 共同実施の実践発表
- ・ 実務研 非常勤について 任用形態から給与支給までの流れ留意事項など具体的に 4件
- ・ ブロック・グループ制度の検証・実践報告
- ・ 学校財務マネジメントを実践している方の話
- ・ 昨年もそうだったが、この場で財務について触れて頂けると、改めて自校について考えることが出

きるので良い。

- ・今年度、特別支援の研修に参加させていただき、行政職も学校に勤務する職員として、基本的な知識が必要であると痛感したので、教育に関する研修も是非取り入れてほしいと思う。
- ・事務職員としての危機管理・安全管理について（施設のことや不審者対策など）
- ・勤務時間短縮の実例を交えた講話をお願いしたい。
- ・教員免許講師制度等、教員免許状に関すること。
- ・実務で役に立つ法規的な解説など。
- ・学校における危機管理・トラブル対応について
- ・事務所（県教委）が考える、これからのブロック・グループの運営方法について
- ・他県の学校事務職員の実践も何う機会があれば良い刺激になります。（同じ学校事務職員として向上心を持つきっかけになると思います。）
- ・地区の実践例・研究の成果の発表及びそれについての討議（他地区の実践例・問題点や困っていること等の解決策や方法の討議 等）
- ・講演 講師 衆議院議員 民主党 細野 豪志 氏 演題「健全なナショナリズムとは」
- ・学校事務に関する事務処理業務内容が激的に変化している昨今です。したがって、実務研修を希望します。
- ・希望なし
- ・実施しない。
- ・学校事務全般に関する内容。
- ・事務研報告・講演（他分野でも元気の出る？ようなお話が聴きたいです。）
- ・講演（内容：メンタルヘルスに関すること）
- ・できればゆったりとしたスケジュールで職務上役立つ話を聴きたい。
- ・今回のような意味のある講演が良い。
- ・今回のような、実務に直結できるものがないと思います。改正になったものがあれば、その説明・解説、取り立てるような改正がなければ、勤務時間の割り振りや週休日の振り替えの説明のときのように、何かピックアップして解説をしていただければと思います。
- ・毎年講師を探すことが大変なら、1つは全事研報告に時間を使っても良いかもしれない。
- ・講演…非常勤講師のことについて
- ・子ども手当の支給や扶養控除廃止等が行われるなら、お話を聞けたらいいなと思います。
- ・行政説明・・・県教委担当係 免許更新制の最新情報や勤務時間条例の注意点
- ・全国的に活躍している事務職員の実践報告（横山統括事務主幹の講話にでてきた方の内一人でもよいので、実践報告をしていただき意識改革を図る。）
- ・分からないことばかりなので、どんな内容でも勉強になります。
- ・吉原一中の佐野さんが海外派遣にいくと伺っております。事後報告を聞きたいです。2件
- ・食育や特別支援教育に関する講演
- ・学校事務や学校経営参画についての内容の講演（3件）
- ・教育や社会全体の今日的課題の講演
- ・コミュニケーション 子供たちとどのように関わっていくかの講演（2件）
- ・学校や個人でできるエコの講演
- ・平成26年の全国大会発表につながるような講演会
- ・県の広報室の広報官、外部人材活用事例、スクールニューディール構想への取り組み事例など実際に関わっている方の講演
- ・全事研報告及び事務研報告、研推報告（40件）

- ・他地区の統括事務主幹の講話
- ・指導校長による「もとめられる事務職員像」
- ・全国大会報告（4件）
- ・クレーム対応
- ・学校事故、公務災害
- ・服務、給与、諸手当についてのQ&A方式の講演（2件）
- ・教員へのサポート（事務職員が教員へできるサポート）
- ・日常の実務上の課題、質問等を集約し、県教委又は教育事務所の担当から講義（説明）を受けることにより事務処理能力の向上を図る。（内容はアンケート等を集約した結果決定）
- ・岩手県立大学総合政策学部教授 田島 平伸先生「学校をめぐる社会環境の変化と学校問題」
- ・根拠法の講話
- ・午前中・・・全体会（東部、県、東海、全国事務研の活動内容の紹介）
午後・・・各地区の研究課題（全地区からの紹介）
講話（実務的な仕事領域の講演、講話）
- ・講演（8件）・講演を希望します。事務の内容でもそれ以外でも、その時のタイムリーなお話を聞くことができたらいいなと思います。（同意見 6）
- ・講演として「トラブルを防ぐための接遇」・・・石割郁子氏(E&E プロモーション (株) 代表取締役で教育センターの新規事務主任・主査研修の講師として活躍している方ですが、危機管理も含め、改めて接遇について全体で聴講するのも良いと思います。
また、研究集会の意味を考えると、講話だけでなく、自分たちのコスモスプランの実践発表が有る方が望ましいと感じました。一段高いところからの講話だけでなく、身近な実践を聴けることで自らががんばってみようかなという気持ちになれると思います。（発表してくださる方には荷が重いことだと思いますが、資質を磨くということにもつながっていくと考えます。）
- ・平成21年度自主研修会で講師をされた二見恵美子氏の講演
「学校財務に関する取り組み」実践例がすごいです。ここまで事務職員が関わってできるのか驚きました。（同意見 2）
- ・コスモスプランを意識した内容で、事務職員の意識向上につながるもの・・・。
- ・講演（実務から離れた）
- ・経験年数別討議
- ・実務研修をお願いします。（同意見 3）・今回のようなタイムリーな内容で、実務に関する講話をしていただきたい。日々追われているので、理想とかではなくとにかく実務を。
- ・共済組合のライフプラン講習会で家庭の経済設計について講義を受けましたが、参考になったので、もう少し詳しく、役立つ情報を聞きたいです。
- ・毎日忙しい日々を送っているので、メンタルヘルスや健康に関するようなことを受けてみたいです。
2件
- ・「教員の負担軽減」以外の理由で、事務職員の定数を増加させ、仕事を能率的に迅速に進められるシステム作るためにはどうしたらいいか考えたい。
- ・シンポジウムもいいと思うのですが、参加していただく方をお願いすることなど負担がかかってしまうでしょうか・・・。（同意見 3）
 - ・シンポジウム(主幹バトル)
 - ・シンポジウム形式で校長先生、教頭先生、事務研を含めた参加者で財務に関する内容について
- ・その時のニーズにあったものがよい。他地区の様子を聞くのもよいが、地教委が違っていると、予算配当

から違うので、自分の学校で参考にすることが難しいので、聞いて終わり、ということが多く、あまり参考になってない。

- ・実務研修（法規・法令に関する説明等）・事務研報告・海外派遣報告・中央研修報告
- ・各地区の取り組みが分かるような話を聞きたいです。
- ・全国大会や東海大会の報告など。なかなか行けないので。
- ・シンポジウム（各地区主幹・これからの事務職員に期待するもの、必要なもの、手だて等）
- ・講演（講師名）服部乃利子 氏（内 容）学校現場の省エネの取り組み
(10/31の自主研修で講義を聞いたのですが、講義内容もおもしろくて、学校現場での温暖化防止や省エネに役立つと思いました。)
- ・「講習」？というのは、どうでしょうか クレームの対処法についてなど
- ・事務提要編集委員会の報告もいかがでしょうか？
- ・今年度の学校財務フォーラムで講義された長谷川先生の講話「活力ある学校財務による学校経営」
- ・他校での実践などを学べるようなものが希望です。
- ・各種委員会等の報告。
- ・県外研修等報告
- ・これからの危機管理、対応を確かめる必要性を感じます。
- ・共通理解を図る研修の機会は貴重です。
- ・学校経営参画についての実践例等について
- ・講演 集金・未納関係について市教委等の方の話を聞きたいです。
- ・講演（また学校財務について、もっと詳しく聞いてみたいです）
- ・全研事報告並びに東海事務研報告は、それぞれ代表を送っているのので、ぜひ今後も入れていただきたい。
- ・東部全体として取り上げるべき学校事務の諸課題について 東部事務研役員より
- ・実践発表など
- ・「静岡学校財務マンス」のアンケート結果報告・実践発表や財務に関する講話（基礎知識）など
- ・清原先生の講演を一度聴いてみたいです。（内容はなんでも）
- ・異企業のトップによる講話 ・学校関係者ではない人の講義、異なる職種の方の話。
- ・メンタルヘルス関係。心身疾患等の特別休暇手続きについて。
- ・他県の共同実施についての実践や効果について
- ・本県と他県の事務職員による共同実施や学校財務についてのシンポジウム
- ・今年度同様、事務研報告＋講演が良いと思います。新学習指導要領についての説明をしていただきたいです。各地区がどのような研修に取り組んでいるのか、HPを閲覧すれば分かることかもしれませんが、限度があるので、大まかにでも、全体会で報告してもらえると良いと思います。
- ・講演（一般企業研修の講師をされている方、待遇）
- ・コミュニケーションについての研修・・・人(先生方・保護者)に説明する、伝達する、理解してもらうためには、説得力・調整力・交渉力が必要です。よりよい人間関係を作るためコミュニケーションの研修を希望します。
- ・今年は10月に勤務時間の改正がありその直後の講話だけによかったです。その時々にあった話、最近増えつつある特休（復帰訓練を必要とするようなもの）の話なんかもいいかも・・・
- ・やらないという選択もありではないでしょうか？

Q3 分科会は、どのような内容を希望しますか。具体的にお書きください。

- ・経験年数に応じて、グループ分けをし、他地区との情報交換をする。先輩と話せる分科会2

- ・テーマ別討議（学校で工夫している事・学校経営と事務との関わりで自慢できる事）（事務の効率化の参考例）（教員の事務量の軽減化）（教科書事務、転出入関係事務処理について）（コスモスプラン2）（共同実施2）（学校運営参画）（事務職員のあり方や課題）（各地区の実践発表6）（勤務・服務）（徴収金事務）（地区別の状況）（学校財務）（自校での財務についての取り組み）
- ・テーマ別研究発表（3）
- ・各地区で使用している実務処理に役立つソフト等の説明
- ・財務ウイークの一貫として、会計の校内環境の整備や、未納者の督促方法、対応について、意見交換の場を設定する。
- ・地区の実践例・研究の成果の発表及びそれについての討議（他地区の実践例・問題点や困っていること等の解決策や方法の討議 等）
- ・分科会そのものを希望しませんが、強いて上げれば実務に関するテーマ別研修会（質疑はあり、討議はなしでお願いします）
- ・事務職員のあり方
- ・個人又は地区の実践報告
- ・参加型討議もいいですね。
- ・各地区の研修に負担のないよう、日頃の研修を報告できる場、もしくは意見交換の場とできれば良いと思います。
- ・東部全体で事務処理の統一を図られるべき事項に関してまだまだ、市町で歩調がとれていない。東部で（最終的には全県で）同一処理が出来るようになると良いと感じている。各地区の状況を一人一人の事務職員が知る機会をつくれればそういったことも進めやすくなるので、その機会を分科会で設けられたら良いと感じる。
- ・たとえば、学校財務ウィーク・マンスにちなんで学校財務について小柱を決めての分散会や地区発表。
- ・各地区の財務事務実践報告など。（地区によっては大変むずかしいかも）
- ・職名別・経験年数別による分散会あるいは情報交換会
- ・テーマ別・経験年数別等の研究討議がしばらくないので、構えなくて良い内容での情報交換ができると良いと思います。・小グループによるテーマ別討議（①事務研究会の在り方 ②これからの共同実施）
- ・研究している人やグループの実践報告
- ・共同実施がほぼ全地区に1つくらいに広がるようですし、だんだん一部の地域のことではなくなってくるので、その取り組み例なども、今後もう一度必要なのかなと思います。
- ・各学校で行っている独自の教員へのサポートの仕方
- ・「教育活動の支援」をメインとして、日頃の実践例、課題等について協議
- ・事務の仕事が増える中でどのように仕事を円滑に行うかがもっと必要であり、そのためには情報のデジタル化や情報を共有していくことが今後活躍していくと思うので「情報」や事務の仕事を円滑に行うための工夫などの意見を交換してみたいです。
- ・分科、分散会も効果があると思いますが、地域や会場の制限が出てきてしまい実際の運営には厳しいものがありますね。
- ・時間などは、一度学校によって仕事をしてから出られたので、よかったですと思います。財務フォーラムへの取り組みについての実践もよいと思いますし、それについての分散会もよいと思います。県大会のように大勢でない分、まどがしぼれるかと思っています。
- ・テーマ別討議は、他の事務職員がどのような考えを持っているのかわかるので、参考となりますが、毎年でなくても良いかなと思います。

- ・テーマ別の討議なら、東部各地区の方と交流できる機会が得られる。また当日までの負担も少なくてよいのではないかと思います。
- ・事務職員のこれからについて
- ・情報管理関係
- ・実践発表
- ・学校財務の実践
- ・テーマ設定をしての少人数（20～30人の）討議。会場確保が無理かもしれませんが。
- ・夏季大会のような分散会は、効果があるとは思いますが、事務職員に負担がかかるようなものは、困ると思います。
- ・討議もためになることもあるが、半日の時間を割くことを考えるとあまり賛成できない。
- ・東部全体が集まる機会が少ないので、同年代でグループを作り日頃の取り組み・今の課題 悩み等話し合うようなことができるかと思っています。
- ・財務管理の研究発表（一括管理は負担があるが、重要なので）
- ・会計処理における効率的ソフトがあれば紹介して欲しいです
- ・設問に沿っていないかもしれませんが、行政や県立との交流者、特に戻ってきた人の体験 を具体的に報告する場があってもよいと思う。各地区などでは行われていると思うが。
- ・全国大会の一分科会を静岡県（東部）が受けることを見通した中で、2～3年継続した形での研修が必要になっていくと思われる。
- ・各地区との情報交換（検討会・研修会の現況等）各地区の報告や研修内容を伺いたい思いもありますが・・・
- ・実践発表・・・いろいろな地区の事務職員の方の1日・1週間を追う・こんな工夫をしているなどの話をきいてみたいです。でも特定の方に負担がかかってしまいそうですが・・・）
- ・以前も書いたが、過去開催内容をデータベース化して、マニュアル化の必要も。つまり県大会の年は全体会のみとか。（決まっていたっけ？）また東部が全国・東海レベルの発表等が予定されるときは、プレリハーサルとはいかないまでも研究の概要を報告するもの。とにかく、全国・東海・県大会レベルの長期的スパンで考えることも必要では。
- ・経験年数の浅い方でも各学校でさまざまな取り組みをしているように思います。地区でもやっているかもしれませんが、「学校財務」の各個人の取り組み等を分科会で報告する形（気軽な感じで）
- ・具体的な内容は、思い浮かびませんが、情報交換や意見交換ができる分科会が良いと思います。
- ・各地区で研修しているもの
- ・地区に負担がかかるのであれば、全体会のみを希望する。
- ・分科会を持つのは、準備等大変なので全体会での講義・講演がよいと思う。それだけでなく地区ごと研究発表があるので、これ以上負担をかけたくない。運営者（発表者・地区）に負担がかかる運営（発表）方法は減らしていったほうがよいと感じる。
- ・実施しない。希望しない。（3）
- ・分科会は必要ない。（担当者等の負担が大きい）
- ・分科会は負担が大きい 全体会のみでよい
- ・分科会を持つとしたら、テーマ設定が難しいのでは・・・その分全体で研修する時間を増やしたほうがよいと思います。

Q4 来年度も含め、今後の地区集会の運営方法等についてのご希望、ご意見等をお書きください。

- ・事務所と共催でないなら、毎年でなく隔年でもよいと思う。2件

- ・座ってずっと話を聞くのは辛いです（座席もせまく窮屈なため）
- ・タイムリーな研修ができる機会は貴重ですが、企画運営に携わる方の負担等を考えると、隔年実施等も考えても良いのではないのでしょうか？各学校で実践していること、改善してきたこと発表していただき、参考にしていきたいです。
- ・担当者の負担に考慮しつつ、実務に役立つソフトや情報などを公開し、東部の情報交換の場としたい。
- ・分科会もいろいろな方や地域の情報交換ができ、とても勉強になります。しかし、分科会を担当する地域などの負担は大きいので、全体会を2～3年続けたのち、分科会も開催してみてもどうでしょうか。
- ・今回と同様の開催・運営でいいと思います。19件
- ・半日位で2回の講演があるなら内容のまったく異なったものにする。
- ・あまり凝ったことをしないで、講演や講義がよい。
- ・分科会は、4～5年に1度程度で、必要なときだけで良いのではないか
- ・今まで通り、情報交換の場として年一回は東部地区で開催できるといいと思います。2件
- ・多忙化が加速しているものの、年1回の地区集会是良い研修の機会だと感じています。
- ・運営に携わっている方の負担になりすぎない簡素な（無理のない）運営で良いと思います。8件

※資料を各自でプリントしてくるなど

- ・任命権者研修の一貫として行われていた教育事務所の説明会がなくなったが、本年度同様タイムリーな話題の説明や講義の講師としてお願いしてもよいと思います。
- ・研究会のための研修が多くなっているのではないのだろうか？
- ・職務に直結する内容の構成が望ましいように感じます。
- ・東海大会、県大会、東部大会、支地区研修と合体の方向も考えて欲しい。
- ・研究推進委員をはじめ、多くの方にお世話になり、ありがとうございます。お疲れ様でした。5件
- ・運営方法等については運営していただいた立場からの改善策を来年度にいかしていただければと考えます。
- ・できれば、金曜日がいいです。もしくは、月の中旬くらいがいいです。月末避ける。3件
- ・分散会があるといいと思います。
- ・分散会を持ってほしいという意見が少ないであろう事を見越して述べますが、よほど有効な内容を設定できない限り、分散会を持つことは負担対効果の面でよく考えて頂きたい。参加する側は楽ですが、運営側は大変な負担を強いられるのではないのでしょうか？
- ・今回、インフルエンザ関係で出席を見合わせる方が多く出ましたが、そういった柔軟な対応が出来るのだなーと思いました。それを元に考えると、「事務所主催」部分がなくなったのだから悉皆ではないのだし、今後については校内事情によって、出欠についても異なってくるのかなと思いました。
- ・時期：夏季休業中のような、学校を空けても迷惑がかからない時期を希望
日程：半日では勿体ないので一日かけて研修をしたい
内容：いろいろな方面の方の講演を聞きたい。研修は実務に役立つもの
- ・年に一度全員が同じ研修を受けられ、同一で理解・レベルアップができる全体会方式は良いと思いました。
- ・いつも大変勉強になります。今後も事務職員のために宜しくお願い致します。
- ・教育事務所との共催がなくなり、内容の充実が一層強く求められてくることが予想されます。会のあり方や内容も会員の希望も捉えながらも、大局的な視点を持って企画・推進する必要を感じます。
- ・中西部のように県大会が東部である年は開催しない、全体会のみは半日日程で開催し分科（分

散) 会を開催する年は1日日程で開催にしてはどうか？

- ・経験や地区を越えた話し合い等があると意見交換から新たな発見があり良いことだと思います。また、普段聞けないことなのでこのような機会があると勉強になります。
- ・講演をたくさん聞きたい
- ・とにかく、スタッフの負担が少ない運営方法を希望します。また、地区研究推進委員代表はともかく、地区研究推進委員については任期を1年交代とし、より多くの方が研修会の運営というものを学ぶ機会を持つべきと思います。
- ・年1回は継続してほしい。2件
- ・実施しない。
- ・研究推進委員の方々に、あまり負担がかからない方法で進めていただければと思います。
- ・研究推進委員の方々が日頃の業務を削って運営に充てる必要がないよう、負担軽減について考えてい。また、参加する事務職員も協力体制が必要であると思います。
- ・盛りだくさんにならずシンプルにして欲しい。報告は紙上でもEB上でもいい。
- ・半日日程なので、全体会方式の方が運営しやすいと思いますが、数年に一度は分科・分散会方式にしないと、内容がマンネリ化したり、各会員の参加意識が低下したりすると思います。
- ・分科会が難しいなら、分散会もいいかもしれません。
- ・研修というと、理想が先だってあれもこれもとなりがちであるが、毎年どれか一つにしぼり、重点的に研修した方がよいのでは。
- ・来年度以降半日開催を定着させるのか？
- ・中部・西部地区の他地区の集会の内容等参考にしてみるのもいいと思う
- ・事務所との共催でなくなり、会員自身が必要性を感じる集会の在り方を考えなければいけないですね。数少ない研修の場であるので、有意義な会となるようにしていきたいと思います。
- ・自主研修として開催するという方法もあるとは思いますが、半日であっても現状のような形での開催を維持できるような内容を考えていけたらと思います。
- ・分科会は担当の負担が大きいと思うので数年毎でよいと思います。(3年に1回)(2件)
- ・分科会形式は担当の負担が大きいので全体形式がよい。(2件)
- ・研究推進委員を中心に運営する今の方法(研推さんは大変ですが)でよい。
- ・場所は交通の便などから三島が適当だと思いました。(3件) 午後の開催だと午前中にある程度仕事ができるので助かります。
- ・次年度の運営(内容)については、全員アンケートの中から研推の方が拾って計画してくれているのだと思いますが、研推以外に実行委員を公募したりしながら運営していくのもよいかと思います。

(研推委員は地区内外やることが多いかなという意味で)

- ・分科会を持たないと各地区を知ることがないので、せめてその場で立って挨拶や紹介などができたらよいのではないかと思う。
- ・年々仕事量が増加しています。運営者の負担が少なくてすむ方法にしていきたい。
- ・1日でも半日でもよいが、この研修は毎年継続してほしい。(3件)
- ・もう1週くらい早い開催日の方がありがたい。(月末は厳しい)
- ・報告事項や条例改正があるときの隔年開催でもよいのでは？
- ・教育事務所と合同で1日日程で行ってきたが、今年度から教育事務所の研修がなくなったので、その部分のある程度事務研(地区集会で)補完する必要があると思います
- ・各地区の顧問校長(教頭)の先生方には、是非ともご出席いただき会の重要性について強くアピールしていく必要性はありますね! 今後の教育事務所の再編などを見通す中、校長会等との連携は

重要になりますね。(ちなみに本地区の顧問校長は、今回の地区集会への参加をしたかったとのことでした)

- ・開催時期はどうか？(今年度のように29日だと…) (同意見 3)
- ・推進委員さんたちが少しでも楽にできるよう、簡略化をしていただいてもいいのではないのでしょうか。
- ・本当に無理だとは思いますが・・・会場に机が欲しいです。(同意見 2)
- ・会場がもう少し広いといいと思いました。(同意見 6)
- ・あまり必要ないかと思えます。
- ・やはり、今年度のように、その時々に必要な実務に関する講義や研修をひとつ、入れて欲しいとおもいます。(同意見 2)
- ・全体会を希望します。(同意見 2)
- ・隔年開催で良いと思えます。事務研の単独開催になったこともあり、一部の人に負担がかかりすぎると思えます。全体会のみだと、ただ聞いているだけなので、Q3で述べましたように分散会形式でテーマを決めて話し合いを持つことも良いとは思えます。しかし、会場設定が難しいし、司会や記録等になる方の負担が確実に増えますので踏み切れないかなと思えます。全員が同じ会場で同じ講演や、個人の実践を聞くことで共通理解を図るのも価値はあると思うので、全体会形式でよいと思えます。
- ・時間は今年度のように、午後からでよいと思えます。
場所は三島でよいと思えますが、市民文化会館の座席が狭くて、長時間話を聞くのは苦痛でした席がもう少し広ければいいなと思えました。(同意見 2)
- ・無理な目標は立てずに、自分がまずできることをコスモスプランの中から見つけて、実践すること。
横山主幹の話を聞いて、思いました。
- ・どこの学校の事務職員も、事務の仕事が多忙となっている現状から、研修推進委員さんや、地区負担が増さない工夫が必要かと思えます。しかし、むずかしいですね。
- ・どのような形式にしろ、参加する側はそれなりに得るものは必ずありますので、やはり担当者の負担軽減を第一に考えるべきだと思います。
- ・できれば午前中から開催してほしい。午後からの開催でも、遠方の学校は午前中から出かけなければ間に合わず、勤務が中途半端になる。毎年終日が大変ならば、隔年開催にしても・・・
- ・運営ありがとうございました。とても有意義な研修会でした。
- ・推進委員のメンバーに任せきりですみません。
- ・感想の欄にも記入しましたが、午前と午後の形態を変えて終日実施したほうが、時間を有効に使うことができると思えます。
- ・研究推進委員の方々は、事前の準備等大変ご苦労さまです。感謝しています。
- ・時間が短いことから、1テーマで全体会のみ、分科会のみという設定でもよいと思う。
- ・各種訪問や学校の都合で欠席という声を聞くので、重要な伝達はしない。
- ・挨拶は1分で十分。必要ならば書面で・・・
- ・研修は「各自の取り組む姿勢」が全てで、東部地区集会はそのためのお手伝いではないでしょうか。
頂いた資料や講話の内容を「生かすも殺す」も各個人ではないでしょうか。
- ・実りの多い会になるよう、東部地区集会の前のPRや事前の(意識付け)宿題等、個人に投げかけることが大切になると思えます。
- ・会場の予約の関係もあり難しいとは思いますが、函南中央公民館のように机があると、メモがとりやすいと思えました。
- ・会場は、メモも取りやすい状態だと有り難いです。

- ・今年度のような、改正等があったときは、実務的な話が聞けるといいと思いました。
- ・事務所との共同開催でないのならば、開催地を持ち回りにしたら？
- ・事務所との共催でなくなり、今後の地区集会のあり方を再検討していく必要があると思う。
- ・半日なので、あまり詰め込みすぎず、全体で聞く実務と講話がいいと思う。
- ・毎年運営する立場の方は大変です。事前や、前年からアンケート等実施していてもどうしても参加する側は受身になってしまいますよね、そのあたりをクリアできるといいと思うのですが難しいですね実際は。
- ・来年度も東部事務研究会の単独開催になるようでしたら、各地区顧問校長、顧問教頭等に参加を呼びかけたらいかがでしょうか？
- ・東部地区の事務職員が一同に会する貴重な機会なので、統一見解が保てる有意義な集会になると思います。それには各地区での研究推進委員への協力体制が必要だと思います。
- ・研推委員を中心に会が活性化する意味でも、弾力的な運営をお願いします。持論として研修会に行くのであれば必ず一言は意見を述べて帰ることを目標にしていきたい。
- ・全体会（実践発表を含めて）
- ・一堂に会す必要性は疑問 東部の所属に事務が不在になる 半分に分けて時期を一週間等に分けることは効率が悪いでしょうか・・・
- ・半日日程でも内容が充実していれば良いと思いますし、運営に携わる人たちの負担も少なくなるのではないのでしょうか
- ・年に一度、静東管内の事務職員が、共通意識を持って参加できる唯一の研修会だと思います。一部の人(研究推進委員)にあまり負担とならないような運営ができるといいですね。
- ・研究大会と違う東部独自の運営を望みます。
- ・三島市民文化会館の小ホールでの長時間の研修は辛いので、できれば菫山文化センターなどの他の会場にしていきたいです。
- ・毎年開催する必要があるのか、疑問・・・(2)
- ・やらないという選択もありではないでしょうか？運営する側の負担が大きすぎるのではないかと思います。

3 コスモスプランの定着に向け、これからどのような実践をしていけばよいでしょうか。

実践例や方法等について具体的にお書きください。

- ・組織の中の一人として行動し、職員と連携を取りながら学校予算などを効果的に執行できるようにしたいです。
- ・自分も含め、学校や子どものため、という意識が薄いと思う。それを高めれば、実践していることや計画していることにもっと良い効果が出るはず。(抽象的でごめんなさい)
- ・教員の事務負担軽減に向けた業務と、学校事務の機能充実として組織マネジメントを目指す業務と、双方満たせる方向を考えたいと思うのですが…
- ・もう一度、コスモスプランの内容について見直し、まずは1週間の目標、次は1ヶ月、1年の目標・・・といった感じに、少しずつ目標を決めてコスモスプランを定着させていきたいです。
- ・あまり理論にこだわらずに、日々の仕事を確実に遂行しながら少しでも改善できることを考え、実践する。それによりスペシャリティが強化され、同じように学校全体に視点がいくとスクールマネージャーとしての気づきが出てくるように思う。
- ・コミュニケーション能力をみにつけていきたいです。
- ・まず、身近にできることから率先して行うように心がけるようにしたいと思います。
- ・自分自身がよりコスモスプランを意識するために、経営案作成時にコスモスプランを盛り込んでい

きたいと思います。

- 具体的にどうするといいいのかは分かりませんが、常に念頭に置いておくことが重要だと思います。
- 組織の一員として、自分の立場と役割を理解して仕事を進めていくこと。それとコミュニケーション能力を高めていくことが必要だと思います。
- スクールマネージャーとして、事務室から情報を発信できるようになりたい。
そのためには、聞く力を付け、動く力を付け、情報収集していきます。
- 財務ウィーク（マンス）にあわせて、財務のことについて教職員へ知らせることもコスモプランの定着につながるかなと思っています。
- 職員が事務処理をスムーズに行えるようにするために、事前に説明する。マニュアルを作成しそれを参考にしてもらったり、書類を渡すときに注意点を説明する等。
- 適正な文書管理の定着を図り、職員が仕事がしやすい環境づくりをする。
- コスモプランの定着のためには、「継続する」が一番大切なのかな？と思います。採用になった方、交流の方などにも毎年確実に伝えていくことと、毎年の研修計画の中に確実に位置づけた取り組みをするようにすることでしょうか。意識することで実践に繋がると思います。
- 事務職員が学校で提案、改善していく力が必要であると思います。
- 個人の資質の向上…条例改正内容の読み下し、事務の効率化に役立つパソコン技術の習得等

※基本的なことと思いますが・・・

- 各学校で、学校にあった実践を考え、協働して進めていく。
- 他職や世の中に対してアピール力のあること。
- 日頃行っている自分の仕事が、コスモプランのどういった部分と結びついているかを意識するよう心がけていく。
- 今は、まだ経験年数が浅いため、コスモプランを意識して何か新しい実践をやらなければという気持ちよりも、まずは普段の仕事をしっかりとこなせるようにならなくてはという気持ちの方が強いです。なので、具体的なことは何もしていません。
- （「コスモプラン」を念頭に仕事をしているわけではないですが、）日々の生徒の様子や学校全体の動向を自分自身が把握した中で「生徒のために」の気持ちを常に持って仕事をしていきたいです。
- 事務職員という立場で、子どもたちともっと関わって、子どもたちの成長を見つつ、仕事をしたいです。
- 事務職員1人1人の意識の問題だと思います
- 毎年年度初めに目標をたて、進捗具合を適宜評価するようにする。
- 急に『スクールマネージャー』にはなれないし、一度に全てを行うこともできないので、「コスモプラン」に挙げられている「活動のポイント」を一つずつ実行していけるように努力する。
- コスモプランについては、私自身の中では、あくまで「事務職員が求めるべき姿、あるべき姿」を明示したものと捉えています。そういった点で、日々の業務を着実にこなす中で、理想と現実との乖離をしっかりと認識し、理想に近づいていくための日々の努力をしていくことが大事だと考えています。それらを踏まえた上で業務がおこなわれていれば、最終的には「コスモプラン」へと自然につながっていくのだと考えています。
- 研修の一部として、コスモプランについて話し合う場を時々設定するのはどうでしょうか。
- 研修するものをきめて個々に研修し、発表する。いろいろな内容が出て研修が深まります。
- 日々の仕事を丁寧に誠実に行うことが基本だと思います。
- 自分から、学校内、職員等に発信をするように心がけ、学校経営に参画できるよう努める。
- 校内のいろいろなことに事務職員も首を突っ込んでいく（抽象的ですがみません）
- 学校財務について全国レベルでは論議されています。当たり前のようにやっています学校事務職員の

根幹をなす領域の業務だと思います。せめて地区内で共通の校納金マニュアルの策定実施を希望します。(研修班より提案済みなので)

- ・学校財務マネジメントの実践(学校徴収金負担軽減に向けての実践など)
- ・大きな課題なので、各自身近にできることから取り組んでいく。
- ・事務職員の仕事内容は教員にも保護者にも意外と知られていないように思います。一般教員、児童、保護者にも紹介する機会があればと思う。私の保育園(私立)の事務さんは、学校便りに一度、保育士とは違った視点で保育観、教育観エッセイを寄せていて保護者として心に残った記憶があります。
- ・保護者・地域の方等を含めた一般の方の「学校事務への理解者」が増えるような実践ができたらと思います。
- ・新しい実践ではないけれど、企画委員会での積極的な参画(情報提供や予算管理等)・校内を統一した財務会計の適正処理の推進などをしてほしい。
- ・コスモスプランを常に意識して仕事に取り組んでいかななくてはならないと思います。
- ・学校の業務はもちろん、それ以前に人としての大切なコミュニケーションについて触れることができたことをうれしく思った。
- ・いろいろな場面でコスモスプランを実践していると思う。これから事務職員の中だけにとどまってしまうことのないように、管理職と先生方にアピールし実践していきたい。
- ・難しくてもよくわかりませんが、まずは子どもたちの名前を覚え、積極的に接し、子どもの目線になって、過ごしやすいように環境整備などに力をいれていきたい。
- ・「やる気・元気」・・・答えにはなっていませんが。
- ・基本的なことですが、所属において、事務処理はもちろんですが、人間的にも信頼されるよう努めることを日々継続することが必要だと思います。
事務職員が学校・児童・教育全般のことを理解することも大切ですが、事務職員のことを教員・保護者・外部の方に理解していただくことも大切だだと思います。全く具体的でなくてすいません。
- ・各校で事務職員が日々行っている仕事すべてがコスモスプランにつながっていると思います。その中で、自信を持って紹介できる実践例があったら、東部地区集会でぜひ紹介してください。
- ・コスモスプランに基づいた講演会・研修会があれば自然に意識が高まり定着していくのでは。
- ・コスモスプラン実践のために、仕事や出張を「へらす」ことがまず第一なような気がします。
- ・学年費会計等の適正化を目指したいです。他の学校と少しでも同じような処理ができるようにしたいです。
- ・具体的にという、なかなか思いつかないのですが会計処理など事務がアドバイスできるようなことについて学校内で手伝いをしたり・・・ということが、コスモスプランの定着につながるのかな?と思っています。
- ・コスモスプランを常に意識できるよう、概要の載ったポスター等を作成し、事務室内や事務機のそばに掲示しておいたらどうか。
- ・まじめに、手を抜くことなく、常に前向きであること。学校を大事にすることを心がける。
- ・各自が具体的に、学校の中での目標を掲げて、「何を、いつまで、どうしていくか。そのための方策は」と実践していくことが必要。受け身では進展はないと思う。
- ・掃除の時間や休み時間等を通して、教員や子どもたちともっと色々な話しをすることを心がけている。子どもと先生方の顔が見えることによって、コスモスプランの「子どもの豊かな育ちを支援」につながると思う。
- ・事務研究会の班別研修では、年度始めにコスモスプランを意識するような話がありましたが、検討会単位でも情報交換ができるとよいかと思います。

- ・個人的には、もう少し気楽に構えられるようにしたいと思います。
- ・本人の意識改革がいちばんかと思います。このような研修の場を通して気持ちを切り替えていきたいと思います。
- ・勤務校に根ざした具体的な取り組みであることが一番だと思います。
- ・現在校に異動し、先生方を巻き込んで学年会計の処理を統一させていくのに3年かかりました。一人職ですから、すべてやってあげることはできません。先生方にやっていただくには、学校の実態を把握し、一年度ごとに少しずつステップアップしていくしかないのではないかと考えています。
- ・実践方法等については、各学校の実情によって違ってくると思います。少しずつ着実にできたらいいな。と思いますが・・・
- ・東部地区集会等身近な研修を資質向上の機会としていきたいと思います。
- ・東部地区全体が同一の歩調、意識で一つのことを行うことが大事だと思います。
- ・事務研究会等に参加するときにコスモプランを意識して参加することも重要だと思います（地区としてだけでなく自分の中でテーマを決めておく）
- ・とりあえず？「財務」をきっかけに実践に繋げていけたらと思います。（全事研としての取組もあります。）
- ・企画、運営の必要性を感じるならば、管理職と同じように「全体を見る目」を養う必要があります。直接業務以外の間接業務全般について常に検証する意識を持ち続けることも必要です。
- ・今回講話をいただいた学校財務をテーマに、自校の予算を洗い出して効率的な予算執行、予算管理等について取り組みたい。
- ・どのような実践をしていくか、繰り返し話し合い及び協議にて、深めていけば良いと思った。
- ・今回の財務ウィークのような場があると、実践のきっかけになると思いました。
- ・「財務ウィーク」のようにある期間を定めて特にその期間に各校一斉に取り組むというのはいかがでしょうか？ 例 コスモプラン強化月間
- ・早速、定期的に学校財務ウィークの取り組み設け、自主的に学校内で進んで実施することもコスモプランの定着になると思う。
- ・財務管理をするために、職員への情報提供を心掛け、学校全体で取り組んでいくためにコミュニケーションを大切にする。
- ・会計処理や適切な（根拠やデータ資料をもった）助言をすることや、のりしろをもって仕事をする事、他にももっとあると思いますが、そういうことが実践のひとつだと思っています。
- ・学校組織の一員として常に意識していることが学校経営に参画することに繋がっていくと思います。具体的には、教職員との円滑なコミュニケーションや、教員の事務負担軽減を図るために会計・学籍事務等事務室で支援することで、コスモプランの定着のひとつになっていると思います。
- ・日ごろの業務を確実にこなしていくことがコスモプランの実践に繋がっていると思う。（3）
- ・コミュニケーション能力を持ちひとりよがりの実践にならないように注意する。
- ・事務室内の協働体制を大切にする
- ・学校内での業務が大変になっているので、負担の無いように行っていければよいと思います
- ・全事研でも取り組んでいるように、財務をとおしての学校運営参画でしょうか？
でも、なかなか思うようにいかないこともあります。
- ・日常的にしていることですが、これからも会計では、予算を有効に使えるように意識しながら会計簿をしっかりとつけ予算管理を行い、いつでも公開できる状態にしていきたいです。
- ・正確で迅速な事務処理を日々、心がける。
- ・当座は「財務」でしょうか。
- ・備品等を購入した際、子供たちに紹介をしていく。

- ・財務に関する取り組みが最も効果があると感じます。学校全体の流れを充分理解し関っていくことが大切だと思います。
- ・今回財務の講話において自分で目標をたてたことを実践したいです。
- ・各個人の意識向上。学校現場における役割の確認。関連した研修・講義。
- ・個の資質によるところが多いので、何ともいえませんが、地区の研究計画に自己の具体的手だてを記入して、成果の検証や課題を明確にしていくことしかないと思います。自分の実践がコスモスプランにどう、関わっているのかを知ることで、定着が図られると思います。
- ・コスモスプランで、スクールマネージャーに必要な資質のなかにコミュニケーション能力もあります。今回学校財務の講話にもあったので校内での教職員、生徒、保護者、地元の方とのコミュニケーションを心がけていきたいと思います。
- ・子どもとの関わりを持つよう心がけ、学校の児童の実態や子どもの要望などがわかりよりよい環境を作っていくようどりよくしたい。
- ・地区では、ブロック、グループを中心に自分の担うべき事に責任を持つ。校内では、分掌以上のことにも関心を持ち、主体的な行動をとる。
- ・うまく言えませんが・・・事務職員は今でも十分忙しいし、まじめにしっかり仕事をしていると思います。これ以上忙しくなるような特別な何かをする必要はないと思います。反対に今やっている仕事の意味づけをしていったらどうでしょう？案外、今やっていること全てがスクールマネージャーへの道に続くものではないでしょうか・・・
- ・いろいろな活動を、その時だけでなく（財務など）長期的やっっていくことによって結果につながっていくと思うので、何かひとつに重点をおいてやっっていくことが大切だと思います。
- ・富士宮地区の場合、財務関係等いろいろな面で一步先をいっているような気がします。後は、今まで勉強してきたことを参考に、日々の積み重ねの中でよりよい学校づくり（コスモスプランの定着）を進めていけばよいと思います。（具体的な内容でなくてすみません）
- ・常日頃学校でやっている仕事そのものが、コスモスプランだと思います。もっとコスモスプランを身近に考え、意識することで、各個人の資質が向上し、それが地区内の向上につながっていくと思います。まず、自分が取り組んでみたいことを見つけ（今なら「財務」でしょうか？）、事務から学校内外へ発信していきたいと思います。
- ・今の学校状況の把握や事務職員としての見直したいものをピックアップして順序立てする状況をつくること（実情は難しいです）
- ・日々の仕事をどうして、事務の効率化・能率化を図る手立てを模索しながら自己研鑽を積む努力をすること。
- ・それぞれ勤務場所が違い、一人職としての学校事務職員は、個々が自覚を持って研修に取り組むのが大原則だと思いますが、現実にはなかなか実践に至らないのが正直なところだと思います。やはり地区ごとの研修体制を確かなものとして、各学校で事務職員が何を求められ、何を実践することにより円滑な学校運営に関わることができるかを見極めることからスタートするのだと思います。そして些細なことでもよいから実践してみようという気構えが、コスモスプランの実践・定着につながるのだと思います。大上段に構えると、絵に描いた餅で実際には何もできませんね、私の経験では・・・
- ・特におもいつきませんでした。 すいません。
- ・現在、日々行っていることを継続する。学校にいる時間を1秒でも長くするためにできることを改善・実施する。
- ・模索中です。
- ・普段の日常業務がコスモスプランにつながっていくとは思いますが、意識する、しないで差があると思うので、意識しながら仕事をしていきたいです。学校に勤務する行政職員としての意識を個々

に高めるよう教育全体に目を向けていきたいです。

- ・保護者・社会が学校に期待していることを事務職員の立場から考え自分達はどのような実践活動ができるのかを考えたい。(校費負担の軽減、学校情報公開ホームページなど事務の関わり)
- ・事務職員として子どもに何ができるか？子どもにとって何がいいか？を常に意識しながら、児童や職員にアンケート形式で調査をし、管理職や職員と話しあいながら具体的方策を模索する。
- ・事務の仕事に携わっているわけですが、学校における職員としてまず子どものためになるかを考えて関わりながら仕事をしていきたいと思っています。
- ・学校で起こっていることに積極的に関心を持ち、本来行うべき仕事の負担にならないように学校へ関わることを行うとコスモスプランの実践・定着につながると思います。
- ・基本的には、各学校で教育目標の具現実現に向けてどのように個人個人が働いているのかだと思いますが、個人的には、昨年から新学習指導要領に必要な教材を調べたり、財務面で会計の総合精選などをしながら、集金額の見直しを提案したりしています。校内にとどまらず、保護者へのお知らせ等をしながらか、危機管理(説明責任)を果たせればと思っています。
- ・“先生を子ども達に返す”ための環境整備、既存活動の洗い出し、世の流れに敏感であり、企画提案できるために力量UPに努める。
- ・コスモスプランを中心にした研修を重ねる中で、特別なことをしなくても、日々実践イコール学校経営への参画なのではないかと感じるようになりました。そのため、「自分の都合で」ではなく、「子どもにつながる」という意識をもって、毎日の仕事内容を確実に行うことが一番の実践だと思っています。
- ・財務のみならず積極的に学校経営に参画し事務職員としてできる限り生徒の育ちを応援したい。定着に向けてとか実践とか文書化ができませんが全事務職員が一丸となって学校教育に貢献できればよいと思っています。
- ・もっと管理職に対するアピールが必要ではないか。
- ・教職員評価制度と結びつけてみる。事務経営案を考えそれを参考にしてみる+アピールする
- ・研修会参加等自己研鑽を積む。(2件) 日々の実務の積み重ね。
- ・各学校で地道に改善する。
- ・学校財務ウィーク(マンス)を生かし、財務の面でも校長の学校経営を補佐できるよう、予算の有効活用を目指します。
- ・ブロック・グループでの取り組みの活性化により、共通の仕事を担当化し学校での仕事への時間を捻出する。
- ・教員から聞かれたことにすぐに対応する。教員の事務処理を円滑にできるように心がける。
- ・これといったことはしていませんが、普段している仕事がかコスモスプランにつながると思うので意識して仕事をするように心がけています。
- ・実践は経験年数等によりいろいろあると思いますが、コスモスプランができ数年がたち、最近言葉聞いたことがあるが内容がよくわからないという方もいるかと思っています。意識付けや再認識をすることもあつかもしれないので、コスモスプランについての話を聞く機会を設けたらどうでしょう。
- ・グラフや表などでわかりやすく財務をまとめ事務職員だけではなく教職員にも財務について意識をしてもらい学校全体で学校経営について考えていくことで「連携」が生まれ、協力体制ができる。また、会計をしっかりとすることで教員の仕事が軽減され子どもの教育の時間につながるようになると思います。
- ・事務職員の能力向上(マネジメントできるだけの知識・経験が必要)が必要だと思います。経験が少ない事務職員には、それを補うために事務職員間の相互協力(共同実施?)が必要だと思います。

- ・定着を目指すのではなく、自分の行動を価値付けし、肉付けすればよいと思います。価値付けできていないから、「定着」という言葉が出てくるのではないのでしょうか？
- ・コスモスプランを他の先生方に周知して、学校運営に積極的に関わっていただけるよう企画会議等に出席させてもらうことです。
- ・校長の目指す学校経営にうまく関わること。どんな状況にあっても、コミュニケーションを大切にすること。
- ・各地区の研究と深く関わっていると思います。研究推進委員会を中心に、計画的に実践していきたいと思います。・コスモスプランよりもっと優先度の高いことがあるような気がします。
- ・まだまだ学校事務の仕事内容について世間一般には知られていないので、機会を捉えて学校事務のPR活動に努める必要があるのかな？
- ・学校事務領域の経営資質の向上をはかり、信頼される学校づくりをモットーに教育のニーズを的確に押さえる事。財務に関しては職員に情報を提供し、財務管理・教育環境整備・学校全体の備品管理に無駄をなくし、こどもにとって楽しい学びの教材・環境整備に心がけている。
- ・何事にも、行政職の視点から指導・助言ができるよう心掛けています。
- ・コスモスプランを実践するためにも、まずは、さまざまな研修に参加し、多くの情報・知識をつけ、実行していける力をつけたいです。
- ・業務の振り返り・職員への周知が重要であると思います。
- ・職員全員で学校事務の負担を軽減するという意識を高めたい。より効果的な情報発信、事務処理方法の分かりやすい説明や助言が出来るように努める。マニュアルやフローの作成、掲示板の設置、じむだよりの発行など。また、それを利用してもらえるような工夫をしたいです・・・。
- ・色々やればよいけれど、まず先にどんどん合理化して、時間を生み出すことが肝心。そうでなければ仕事が苦痛になる。
それが終わってから、これからはやはり、教育上なことにどんどん踏み込むことが必要なんだろうと思う。教育課程の事などもっと深く知り、学校全体のことを把握することが求められてくると思う。
- ・実践を積み重ねたそれぞれ個人の実践を冊子にするようなことができれば、個々の事務職員も参考にできるのではないかな。
- ・若い事務職員にとっては、コスモスプランの実践といってもピンとこない場合が多いと思います。「これがコスモスプランの実践だ」という実践例をまとめたものがあると、それを参考にイメージがしやすくなると思います。
- ・以前、県大会等で実践報告をされていた方の環境整備や、文書管理等やってみたいと思います。まずは、まねから始めたいと思います。
- ・財務事務をとおして経営参画していく方策。予算委員会の持ち方を考え、教育課程編成に連携した教材選定をするのが理想ですが。
- ・昨年も同じようなことを書きましたが、例えば「一人一実践」をテーマに東部地区全員に実践事例（A4用紙1枚程度）を提出してもらい、それを冊子にまとめてみるというのはどうでしょうか。その中からいくつかヒントになる実践が見つけれられるかもしれない。
- ・具体的ではないですが、まずは「意識を持って仕事をする」ところから実践していきたいと思います。
- ・常に、コスモスプランに通じているという意識をもって仕事に臨むしかないとします。地区内でも、なかなかそういう話をする時間がないので、地区集会などの場で他の人の実践の様子を聞く機会が欲しいです。
- ・学校の中で自身の仕事がどのように動いていくかをきちんと把握し、年間を見通した事務の運営を

行っていくことが今後の第一課題です。「新規採用者だから分からない」ではなく、学校の運営に自身が関わっているという自覚を持ち、勉強する姿勢を常に持つようにしていきたいです。実践例や方法等について具体的にお書きください。

- ・ P D C Aサイクルの機能を確実に実行強化する
管理職にコスモスプランの内容を理解してもらい、事務職員が学校に無くてはならない職員であることを再確認してもらう（事務研から校長会・教頭会へ働きかけ、内容について理解してもらうことも必要）
- ・ 年に1回でも地区の研修や県大会等での取り組み状況等を話し合い意識付けをする
- ・ 現状から脱却し、学校のためにということ意識して、仕事の改善をしていく。
- ・ コスモスプランを、単独のものと考えずに、学校のシステムの中で捕らえる。
コスモスプランの中に自己目標を定め、日常の中で意識して、仕事に取り組む。



職員評価の管理職面接を通じて、校内で自分が目指していることを宣言し、事後の評価やアドバイスを受ける。校内の共通理解が得られ、スムーズにプランを進めることができる。

- ・ 自身の技量を向上させることで、先を見越した仕事をして、教員への働きかけを早めたい
- ・ 実践例や方法等はありませんが、スクールマネージャーとしてやれることから実践して学校経営に参画していきたいと思います。
- ・ コスモスプランは、理想と現実の隔たりが大きい。現実に近い内容に修正すべし
- ・ 概念論ではなく具体的な職務内容や活動・取り組みが自覚できるような研修を行いたい。
- ・ 特に何もしていないので、逆に研推の方が実施している実践例などを教えて欲しい。
- ・ 学校運営の中で、会計の予算作成、執行状況をきちんと把握して実行できるように努力していきたいと思います。先生方や保護者、地域の方とのコミュニケーションがとれるように対応していきたいです。
- ・ 私はまず横山統括事務主幹からお話があったようにコミュニケーションを大切にしていきたいと思います。特に話しかけられたら立つというような行動は私にも実践できる行動だと思うので、傾聴ということを念頭に日々心がけていきたいと思います。
- ・ 共同実施による学校運営の支援をすることで、学校経営に深く参画していく
- ・ 事務処理はできて当たり前、子どものことを意識しながら学校の流れを理解して学校運営に関わっていく。日々の仕事がコスモスプランへつながっているのではないかな？
- ・ コスモスプランは事務職員の間人間的性、コミュニケーション能力、事務の専門性など総括的な目標でとても大きく一言では表せません。専門性に関しては、やはり各地区で研修を行なう、又、センターなど主催の研修会に参加して専門性を高めるように努めることだと思います。
- ・ 校長の補佐（予算や、学校運営にかかわる提案や改善）
- ・ 会計事務の透明化・明確化
- ・ 指導要領改訂に伴う、施設・設備、備品・消耗品等の整備についての提案
- ・ 資質の向上（自主的な研修や情報収集等）
- ・ 学校財務以外にも事務職員の間業務においてマネジメント力の向上。